

---

VoIP-TA  
スタートアップマニュアル  
(NEC 製 IV-110SN 用)

第1版

# VoIP-TA スタートアップマニュアル 目次

第1章 厳守事項	1
1-1. 使用上のご注意	1
第2章 パソコン側の設定準備 (VoIP-TA とパソコンを接続(設定)される前に)	2
2-1. 設定される前のご準備	2
2-2. LAN カードの取付のご準備	2
2-3. ネットワーク設定のご準備	3
(1) Windows の場合	4
(2) Macintosh の場合	8
第3章 VoIP-TA の設定	10
3-1. VoIP-TA の接続方法	10
(1) VoIP-TA 接続にあたってのご注意	10
(2) 各機器との接続	11
(3) 各機器との接続確認	12
3-2. VoIP-TA の設定方法	14
(1) IP アドレスの確認	14
(2) VoIP-TA の設定	18
(3) インターネットにつながることを確認	22
(4) PPP 接続状態について	22
3-3. VoIP-TA のその他の機能	23
(1) ステータス情報の確認	23
(2) 設定を初期化する	24
第4章 VoIP 機能の設定	25
4-1. VoIP 機能の設定	25
(1) VoIP 機能の設定を始める前に	25
(2) VoIP 機能の設定方法	25
4-2. VoIP 機能の操作	29
(1) 電話のかけ方	29
(2) 電話の受け方	29
(3) VoIP 通話と PSTN 通話について	30
(4) VoIP サービスご利用にあたっての注意事項	32
4-3. VoIP 機能のその他の設定画面	33
(1) 電話機能設定	33
(2) サーバ設定	34
(3) VoIP/PSTN 発信制御の設定方法	35
(4) 回線選択テーブル設定	36
第5章 トラブルシューティング	37
5-1. 電話に関するトラブル	37
5-2. VoIP-TA 設定に関するトラブル	38

### 1-1. 使用上のご注意

#### IDとパスワードの取扱いについて

IDとパスワードはお客様の大切な個人情報です。この入力は、必ずお客様自身で行っていただきます。設置工事業者が代行して入力することは絶対にございませので、十分ご注意ください。

#### VoIP-TAの返却について

NEC製 IV-110SNはレンタル品です。VoIP-TA交換及びご解約時には、VoIP-TA一式を返却していただく事になります。内容物(VoIP-TA本体・ACアダプタ・スタンド・付属ケーブル)および箱(返送時に必要)は捨てずに大切に保管してください。なお、添付されているLANケーブルは、サービス品(試供品)です。

(LANケーブルの長さが足りない場合、又はご使用の環境においては十分な特性が得られない場合は、別途ケーブルをご用意ください。「ストレート」「カテゴリ5」のものです。)



#### 警告

本製品を使用したことによるお客様の機器等への影響に関しては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。



#### 警告

異常な熱・煙・音・臭いがする場合はすぐに使用を中止し、電源を切断して下さい。VoIP-TA使用中に、もしもこのような異常が生じた場合は、すぐに使用を中止して電源を切断して下さい。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



#### 警告

VoIP-TAの上に物を乗せないで下さい。  
VoIP-TAの上に本や布などの物を乗せると、故障の原因になります。



#### 注意

VoIP-TAは安定した場所で使用して下さい。  
壁に掛けたり、落ちやすい場所では使用しないで下さい。故障や怪我の原因となります。



#### 注意

無線やテレビなどの電磁波や磁気の影響を受ける場所には設置しないで下さい。  
受信障害や故障の原因になります。



#### 注意

本製品は一般的用途を想定して設計・製造されています。高度な安全性が要求される用途にご使用される場合、予めご契約されているADSLサービスプロバイダにご相談ください。

そのほか、製品添付の「VoIP テレフォニーアダプタ IV-110SN ユーザーズマニュアル」に記載の警告・注意事項をご確認の上、正しくご使用ください。

## 第2章 パソコン側の設定準備 (VoIP-TA とパソコンを接続(設定)される前に)

### 2-1. 設定される前のご準備

以下のパソコン環境をあらかじめ、ご準備ください。

- <sup>注1</sup> LANポートのあるパソコンまたは 10BASE-T または 100BASE-TX 対応 LAN カード(<sup>注2</sup> PCI、<sup>注3</sup> ISA、<sup>注4</sup> PCカードなど)をご準備ください。100BASE-TX 対応の LAN カードを推奨します。

**注1 LAN:** ローカルエリアネットワーク(Local Area Network)のことで家庭内や社内など同じ領域内にあるネットワークのことを指します。

**注2 PCI(ピーシーアイ):** パソコン内部の各パーツ間を結ぶバス(データの伝送路)の規格。急速に普及し、現在の主流となっており、ほとんどのパソコンはこの規格を内蔵しています。

**注3 ISA(アイサ/Instruction Set Architecture):** 初期のパソコンに内蔵されていたバスの規格で PCI よりも前の規格です。現在でも一部のパソコンに使用されています。

**注4 PC カード(ピーシーカード):** ノートパソコン向けの拡張カードの統一規格です。フラッシュメモリカードやハードディスク、SCSI カード、LAN カード、モデムカードなどに利用されています。

### 2-2. LAN カードの取付のご準備

#### (1) デスクトップパソコンの場合

拡張スロットに LAN カードを取り付けます。スロットには PCI や ISA などの種類があります。お使いのパソコンに対応した LAN カード(10BASE-T または 100BASE-TX 対応)を取り付けてください。詳細は、LAN カード付属のマニュアルに従って、インストールを行ってください。

現在 LAN ポート使用の場合は別途 HUB をご用意ください。

#### (2) ノートパソコンの場合

PC カードスロットに LAN カードを取り付けます。PC スロットの規格をご確認の上、対応した LAN カードを取り付けてください。詳細は、LAN カード付属のマニュアルに従ってインストールを行ってください。

## 2-3. ネットワーク設定のご準備

パソコンのネットワーク設定をします。ご利用の OS により設定の方法が異なります。以下を参照して下さい。

Windows 95/98/Me	3 ページ
Windows 2000	4 ページ
Windows XP	4 ページ
Macintosh OS 9.x	8 ページ
Macintosh OS X	8 ページ

### (1) Windows の場合

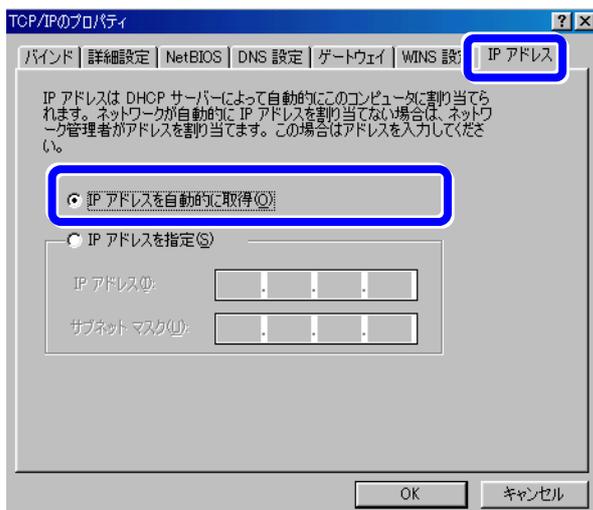
#### ① TCP/IP の設定に関して Windows95/98/Me の場合

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」をダブルクリックし、

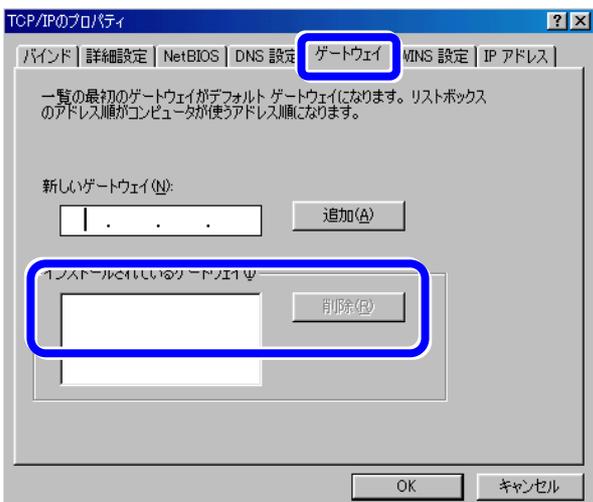
「TCP/IP→(お使いの LAN カードの品番)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。TCP/IP のプロパティが開きます。

以下の設定に変更の上、「OK」で保存してください。

(設定の変更後は再起動が必要となります。)



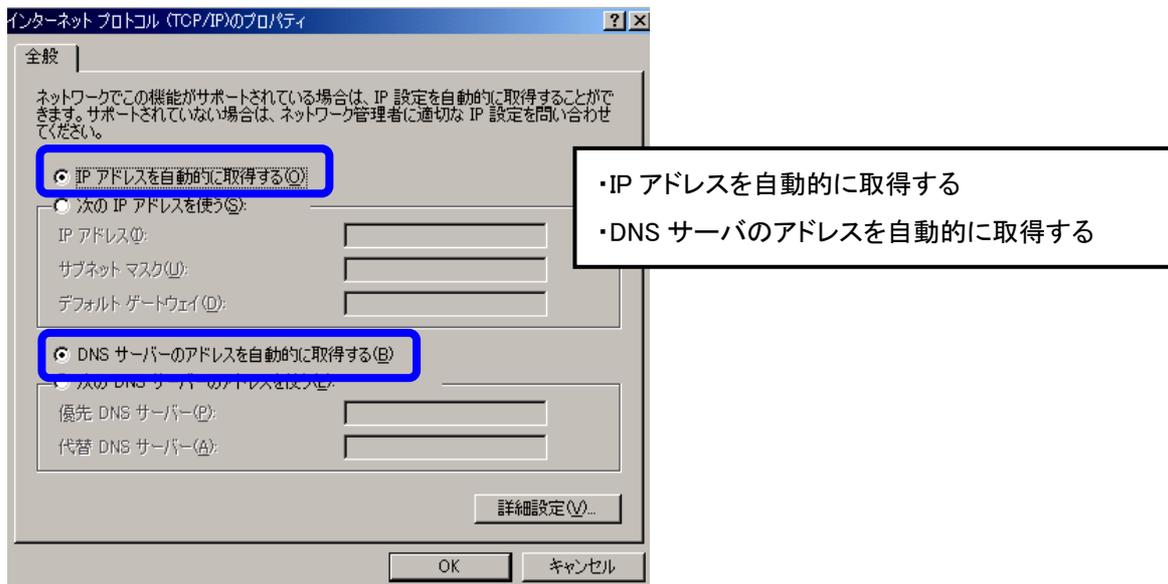
IP アドレス: IP アドレスを自動的に取得  
ゲートウェイ: 指定しない  
DNS 設定: DNS を使わない



設定が終了したら、「④ Windows インターネットのプロパティの設定に関して」へお進みください。

## ②TCP/IP の設定に関して Windows2000 の場合

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。「コンポーネントリスト」から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。以下の設定に変更の上、「OK」で保存してください。



設定が終了したら、「④Windows インターネットのプロパティの設定に関して」へお進みください。

## ③TCP/IP の設定に関して WindowsXP の場合

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。

※クラシック[スタート]メニュー(以前のバージョンの Windows のメニュースタイル)にしている場合は、スタートメニューより「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。



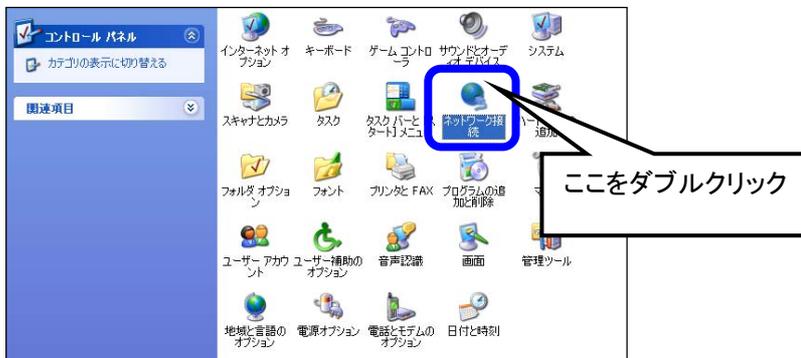
## 2-1.<カテゴリの表示の場合>

「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

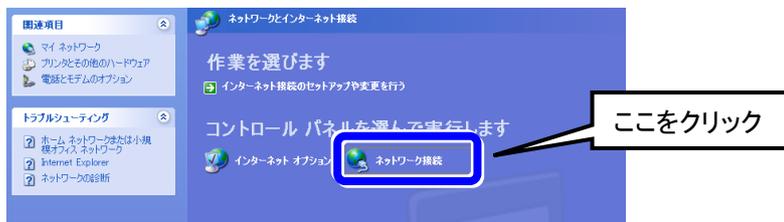


## 2-2.<クラシックの表示の場合>

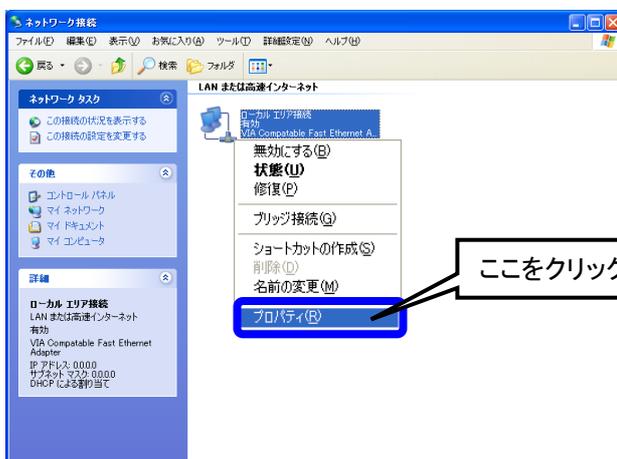
「ネットワーク接続」をダブルクリックします。その後は、手順4に進みます。



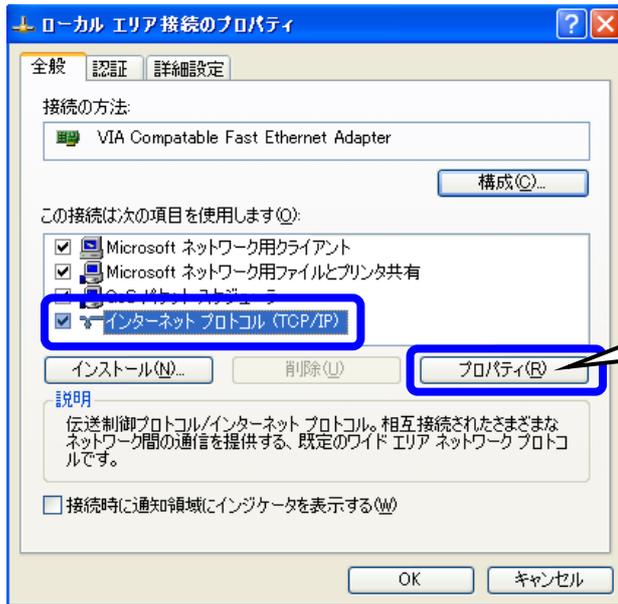
## 3.「ネットワーク接続」をクリックします。



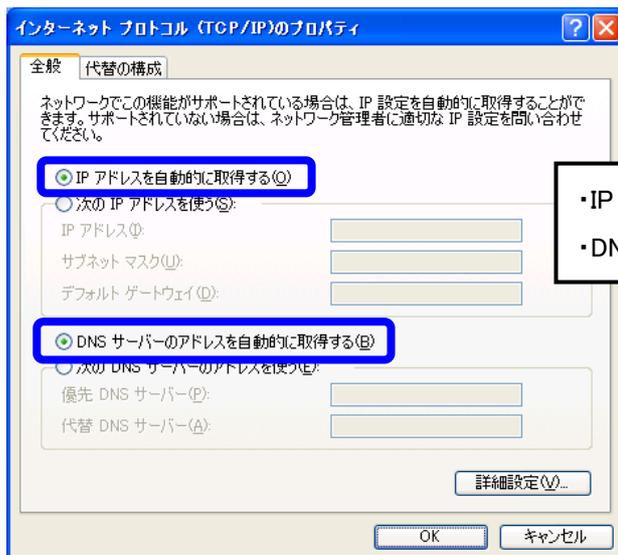
## 4.「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」をクリックします。



5.「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



6.以下の設定に変更の上、「OK」で保存してください。

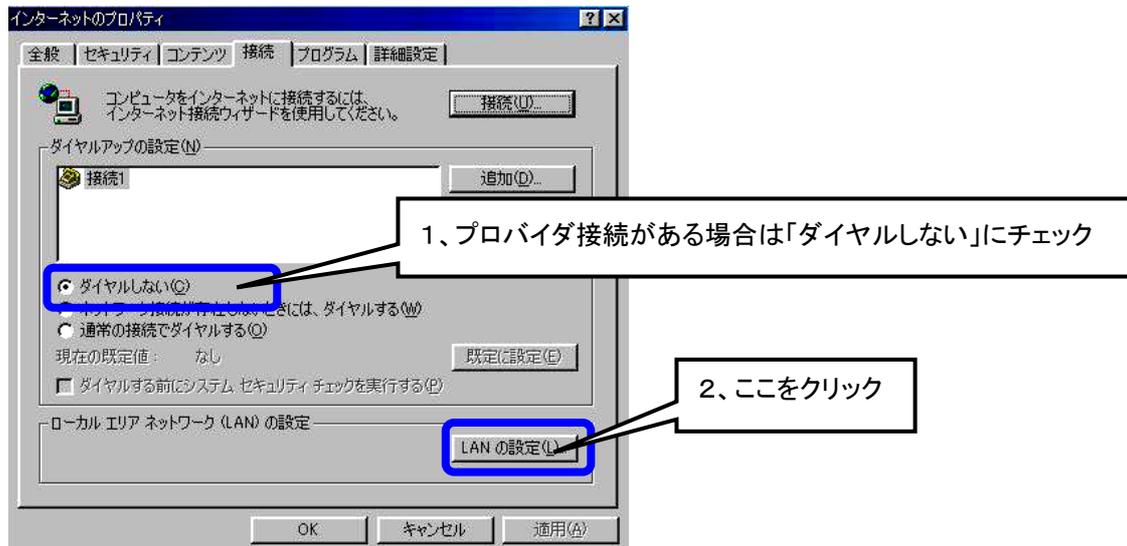


設定が終了したら、「④Windows インターネットのプロパティの設定に関して」へお進みください。

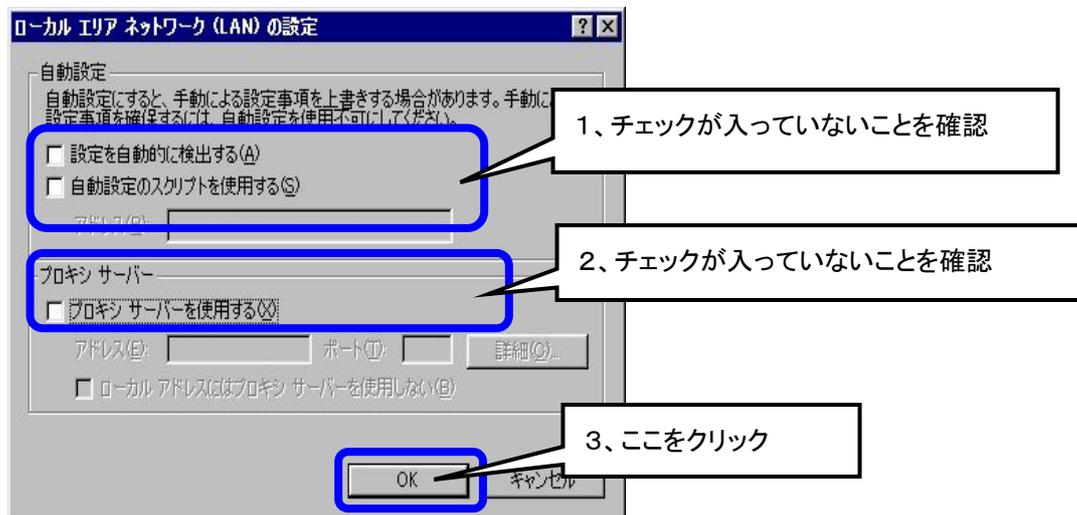
#### ④Windows インターネットのプロパティの設定に関して

1、「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」を開きます。「インターネットオプション」をダブルクリックし、「接続」タブを選択します。

「ダイヤルアップの設定」の一覧にプロバイダ接続がある場合は「ダイヤルしない」という項目にチェック  を入れてください。また、プロバイダ接続がない場合はグレーアウト表示となります。



2、「LAN の設定」をクリックし、表示される「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面内のチェックボックス全てに「チェックがない」ことを確認してください。



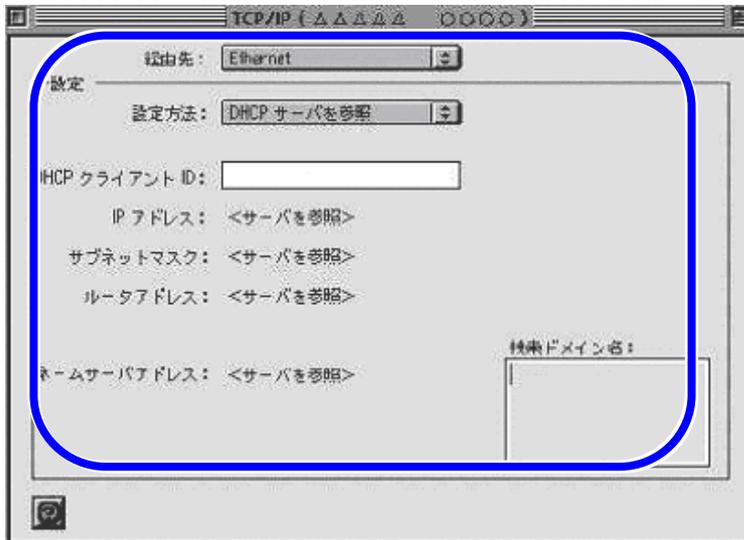
**⚠ 注意:**「設定を自動的に検出する」にチェックが入っていると、Web 表示画面に切り替わるのに時間がかかることがあります。

設定が終了したら、「④Windows インターネットのプロパティの設定に関して」へお進みください。

## (2) Macintosh の場合

### ①TCP/IP の設定に関して OS 9.x の場合

アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選択してください。「TCP/IP」の画面の設定を以下のように設定し、保存してください。

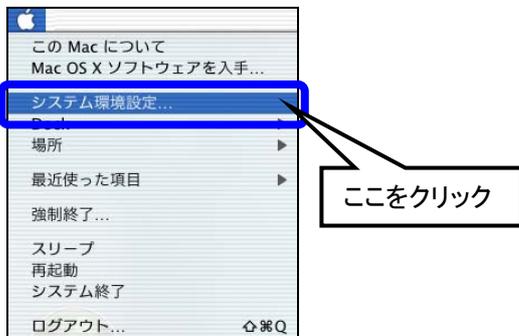


経由先: Ethernet  
設定方法: DHCP サーバを参照  
DHCP クライアント ID: 空白  
検索ドメイン名: 空白

設定が終了したら、「第 3 章 VoIP-TA の設定」へお進みください。

### ②TCP/IP の設定に関して OS X の場合

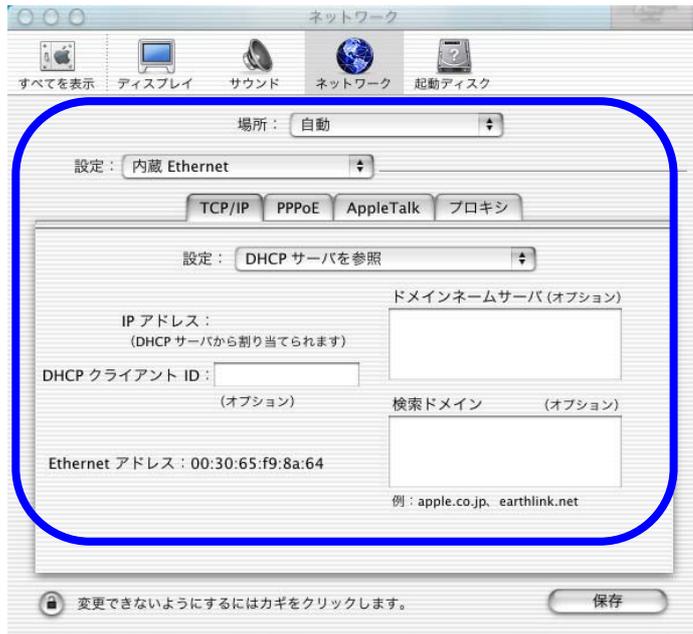
1.アップルメニューより「システム環境設定」をクリックします。



2.システム環境設定の中より、「ネットワーク」をクリックします。



3.「ネットワーク」の画面の設定を以下のように設定し、保存してください。



場所: 自動

設定: 内蔵 Ethernet

TCP/IP タブ内で

設定: DHCP サーバを参照

DHCP クライアント ID: 空白

ドメインネームサーバ: 空白

検索ドメイン: 空白

設定が完了したら、「第 3 章 VoIP-TA の設定」へお進みください。

## 第3章 VoIP-TA の設定

### 3-1. VoIP-TA の接続方法

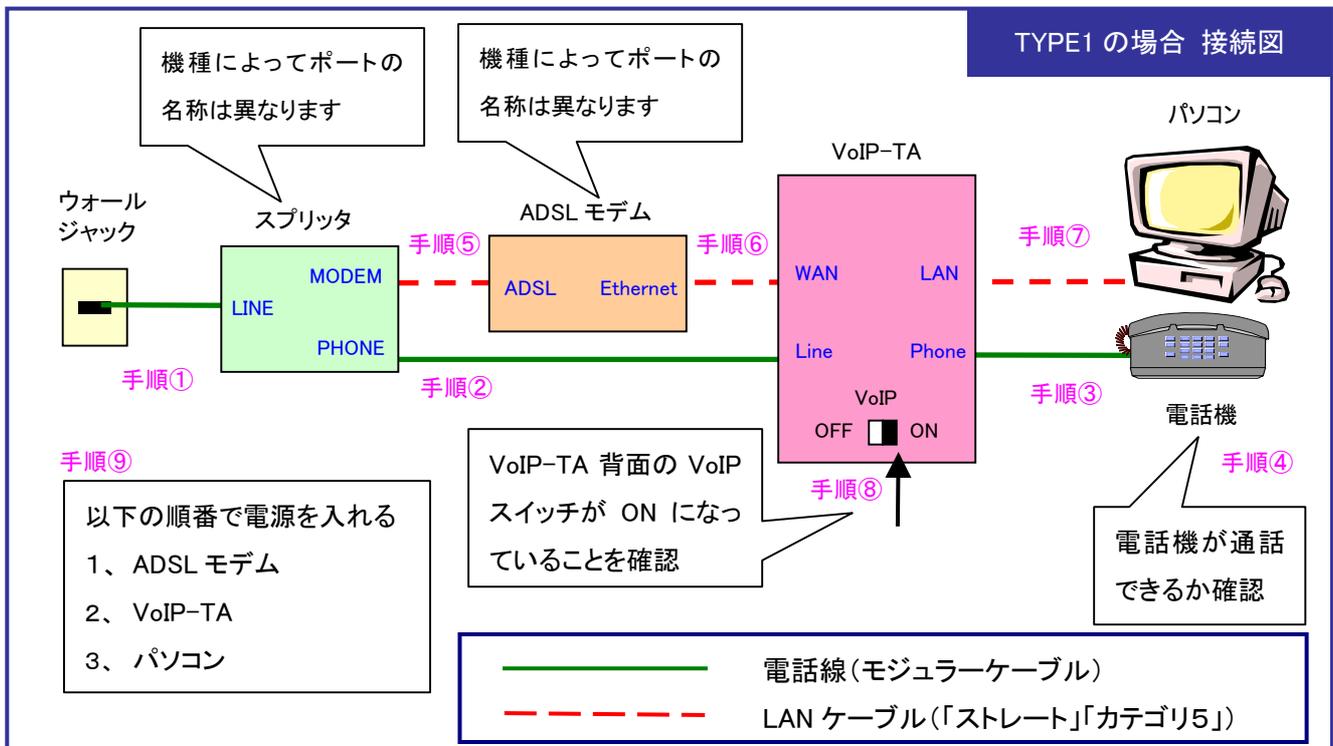
#### (1) VoIP-TA 接続にあたってのご注意

-  **注意:** パソコンと VoIP-TA を 1 対 1 で接続する場合は、LAN ケーブル(ストレート)を使用してください。
-  **注意:** HUB を経由してパソコンと接続する場合は、VoIP-TA と HUB 間は LAN ケーブル(ストレート)でアップリンク(MDI)ポートに接続し、パソコンと HUB 間は LAN ケーブル(ストレート)で通常のポート(MDI-X)に接続することをお勧めします。
-  **注意:** お客様の一般電話回線のダイヤル方式(DP/PB)をご確認ください。VoIP 機能をご利用になる際、回線のダイヤル方式と電話機のダイヤル方式を合わせる必要があります。  
電話機が自動で回線設定する場合がありますが、電話機備え付けの回線種別スイッチにて、ダイヤル方式を合わせてください。手動のスイッチにて設定をしていない場合は、停電時などの緊急時に、一般電話網への発信ができない場合があります。  
お客様の一般電話回線のダイヤル方式がわからない場合は、ご契約の電話会社にお問合せください。電話機の設定については、電話機付属の取扱説明書に従って、設定してください。わからない場合は、購入した電話機のお問合せ窓口にお問合せください。
-  **注意:** VoIP 機能のご利用は TYPE1 での ADSL サービスに加入していることが必要条件です。
-  **注意:** 一度、お客様において VoIP 機能を使用する設定を行い、その後、お客様が VoIP サービスの契約を解除されるなど設定を初期化したい場合、必ず VoIP-TA の管理画面の「保守関連」フォルダ内にある「工場出荷時設定」で初期化を行ってください。
-  **注意:** VoIP-TA 背面パネルの VoIP ON/OFF 切り替えスイッチが「ON」側になれば VoIP 機能をご利用になりません。VoIP 機能をご利用になる場合には、スイッチを必ず「ON」側に切り替えてください。
-  **注意:** VoIP 機能を使わず、一般電話網における電話機の使用をされたい場合は、ダイヤルする前に“0000”を付け、プリフィックス発信してください。  
⇒プリフィックス発信については「4-2(3)VoIP 通話と PSTN 通話について」をご参照ください。

## (2) 各機器との接続

### ①TYPE1 における各機器との接続

下図のように接続してください。(必ずパソコンの電源を切った状態で行ってください。)



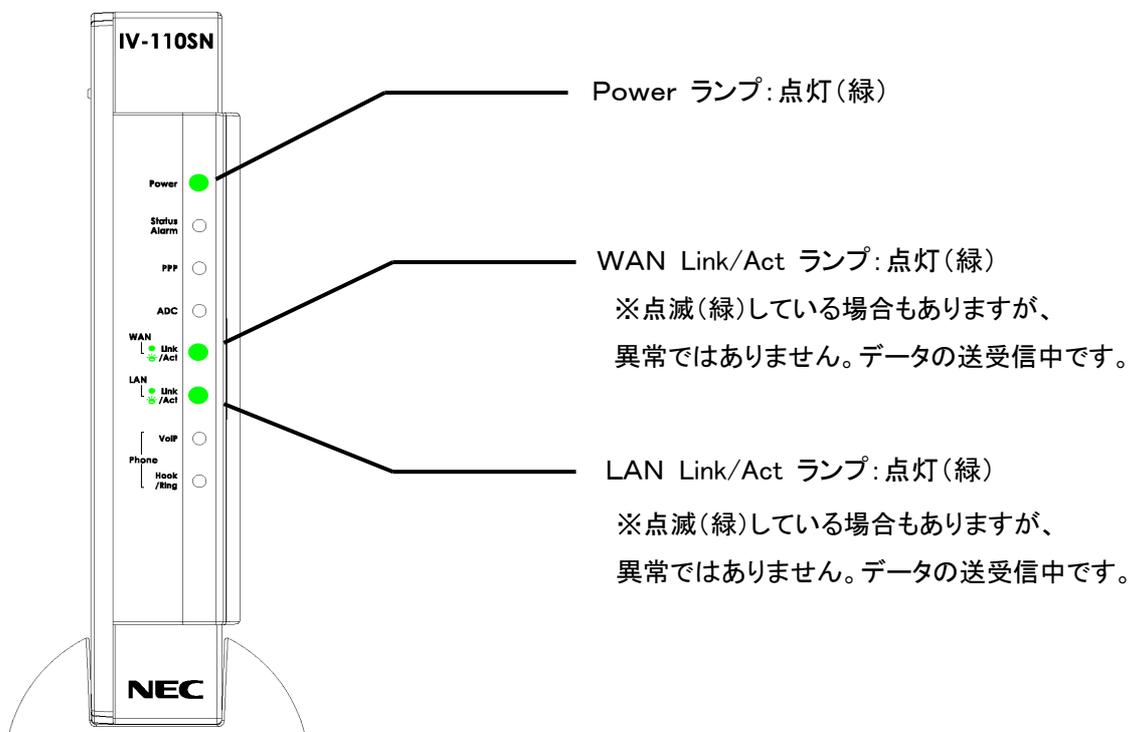
- ① ウォールジャックとスプリッタの接続  
スプリッタ付属の電話線を使用してウォールジャックとスプリッタの【LINE】ポートをつなぎます。
- ② スプリッタと VoIP-TA の接続  
VoIP-TA 付属の電話線を使用し、スプリッタの【PHONE】ポートと VoIP-TA の【Line】ポートをつなぎます。
- ③ VoIP-TA と電話機の接続  
VoIP-TA の【Phone】ポートと電話機またはファックスのポートを、お使いの電話機がつながっていた電話線をつなぎます。
- ④ 電話機が通話できるか確認  
一般電話網へ発信可能か確認してください。  
※お使いの電話機が自動的にダイヤル方式を設定する場合でも、必ずお客様がご契約された一般電話回線のダイヤル方式(DP/PB)と電話機のダイヤル方式(DP/PB)が同一であるか確認してください。
- ⑤ スプリッタと ADSL モデムを接続  
スプリッタの【MODEM】ポートと ADSL モデムの【ADSL】ポートを ADSL モデム付属の電話線をつなぎます。
- ⑥ ADSL モデムと VoIP-TA の接続  
ADSL モデムの【Ethernet】ポートと VoIP-TA の【WAN】ポートを VoIP-TA 付属の LAN ケーブルをつなぎます。
- ⑦ VoIP-TA とパソコンの接続  
VoIP-TA の【LAN】ポートとパソコンの LAN ポートを、従来からご使用の LAN ケーブルをつなぎます。
- ⑧ VoIP-TA の VoIP スイッチを確認  
VoIP-TA の【VoIP】スイッチが「ON」になっているか、確認してください。
- ⑨ 機器の電源を入れる  
下記の順番で電源を入れます。  
1、ADSL モデム  
2、VoIP-TA(電源の「ON/OFF」は、AC 電源アダプタをコンセントに抜き差しします。)  
3、パソコン

以上で接続は終了です。

### (3) 各機器との接続確認

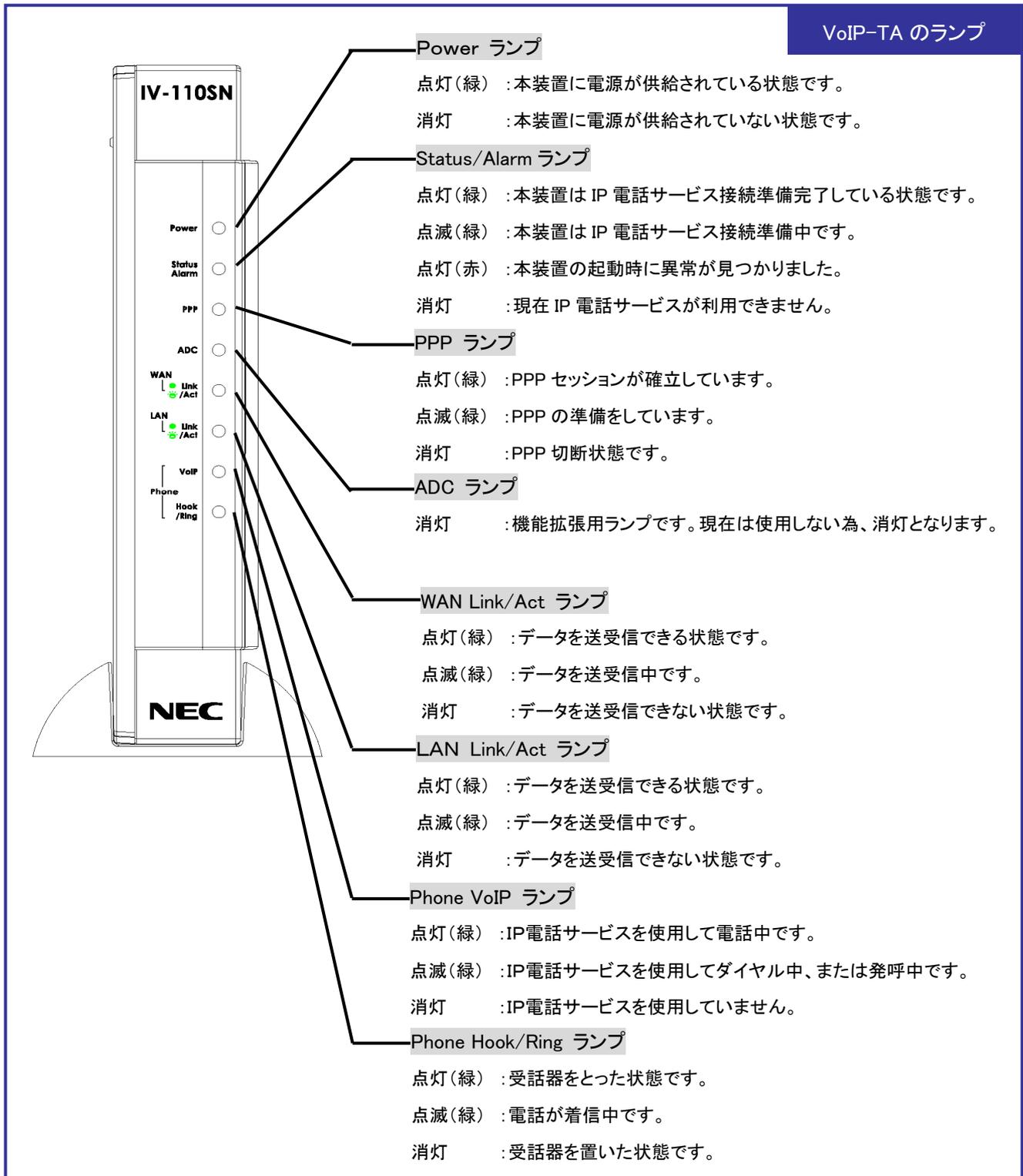
#### ①ランプによる接続確認

ADSL モデム、VoIP-TA、パソコンの順番で電源を入れて、VoIP-TA の Power ランプ、LAN ランプ、WAN ランプが点灯するか確認してください。点灯しない場合は、以下の個所を確認してください。



ランプ	原因	確認する個所
Power ランプ消灯	VoIP-TA に電源が供給されていない	VoIP-TA の AC 電源アダプタがしっかりと挿入されていることを確認
LAN ランプ消灯	10BASE-T または 100BASE-TX のリンクが未確立	①LAN ケーブルが正しく接続されていない ②パソコンの電源が入っていない ③LAN ケーブルのストレート or クロスの違い (詳細は「3-1.(2)各機器との接続」を参照)
WAN ランプ消灯	10BASE-T または 100BASE-TX のリンクが未確立	①LAN ケーブルが正しく接続されていない ②ADSL モデムの電源が入っていない ③LAN ケーブルのストレート or クロスの違い (詳細は「3-1.(2)各機器との接続」を参照)

## ②その他のランプ動作について



**注意:** 初期化をするために VoIP-TA の電源を OFF し、背面 Reset ボタンを押しながら電源を ON します。

そのまま5秒以上 Reset ボタンを押し込んでください。約 30 秒後、装置の起動が完了します。起動が完了するまでに、絶対に電源を切らないでください。この間に電源を切ると VoIP-TA が正常に動作しなくなることがありますので、ご注意ください。また、この間に VoIP-TA のログインはできません。

## 3-2. VoIP-TA の設定方法

### (1) IP アドレスの確認

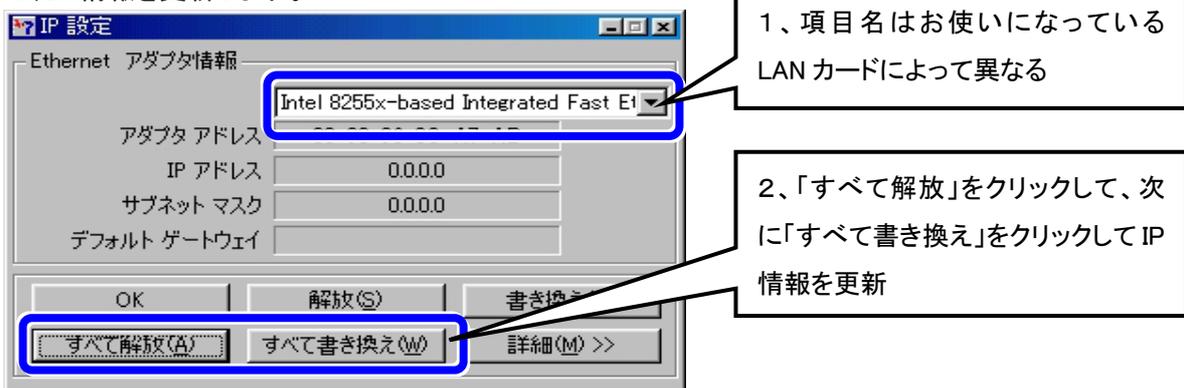
Windows 95/98/Me	14 ページ
Windows 2000	15 ページ
Windows XP	16 ページ
Macintosh OS 9.x	17 ページ
Macintosh OS X	17 ページ

#### (1) -1 IP アドレスの確認 Windows95/98/Me の場合

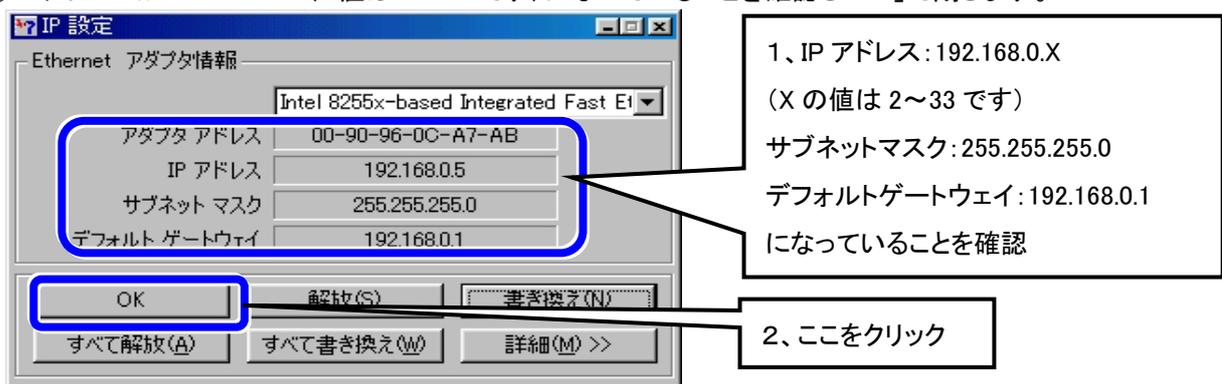
- ①パソコンが立ち上がったら「スタートメニュー」から「ファイル名を指定して実行」を開き、「winipcfg」と入力後、「OK」を押します。下の画面が表示されたら、▼をクリックし、お使いの LAN カードの名前を選択します。



- ②お使いになっている LAN カードを選択し、「すべて解放」をクリックして、次に「すべて書き換え」をクリックして、IP 情報を更新します。



- ③IP アドレスが 192.168.0.X (X 値は 2~33 です) になっていることを確認し「OK」で閉じます。



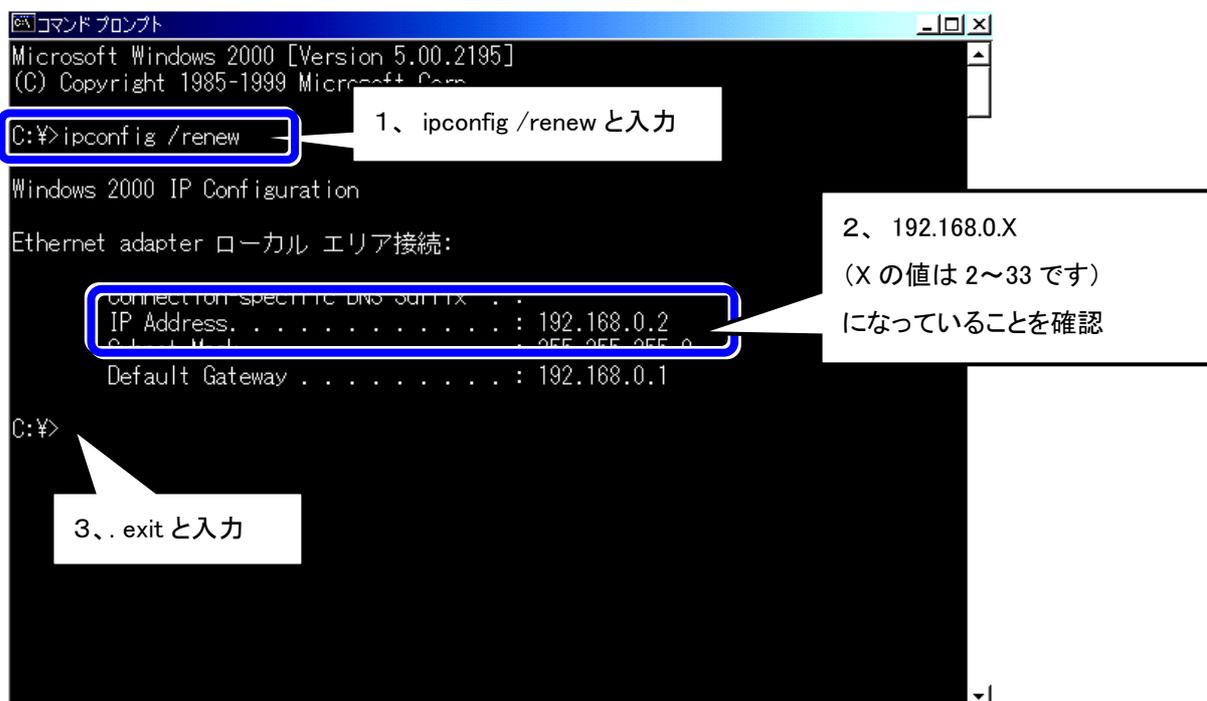
## (1) -2 IPアドレスの確認 Windows2000 の場合

- ①パソコンが立ち上がったら「スタートメニュー」から「ファイル名を指定して実行」を開き、「cmd」と入力後、「OK」を押します。

**⚠ 注意:**プロンプト(画面左側に表示される文字(ex: C:¥))は、お客様の環境によって異なります。

- ②「コマンドプロンプト」の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力して「Enter」キーを押してください。

- ③「Ethernet adapter ローカルエリア接続:」が表示され、IP アドレスが 192.168.0.X(X値は 2~33 です)になっていることを確認します。



The screenshot shows a Windows 2000 Command Prompt window with the following text and annotations:

```
Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-1999 Microsoft Corp.

C:¥>ipconfig /renew
Windows 2000 IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

Connection specific DNS suffix . . . . . :
IP Address. . . . . : 192.168.0.2
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . : 192.168.0.1

C:¥>
```

Annotations in the image:

- 1、ipconfig /renew と入力 (1, ipconfig /renew and input)
- 2、192.168.0.X (Xの値は2~33です) になっていることを確認 (2, 192.168.0.X (X value is 2~33) confirm that it is)
- 3、. exit と入力 (3, . exit and input)

- ④確認後、exit と入力し、「Enter」キーを押して、画面を閉じます。

### (1) -3 IPアドレスの確認 WindowsXP の場合

①パソコンが立ち上がったら「スタートメニュー」から「ファイル名を指定して実行」を開き、「cmd」と入力後、「OK」を押します。

**⚠ 注意** :プロンプト(画面左側に表示される文字(ex:C:¥>))は、お客様の環境によって異なります。

②「コマンドプロンプト」の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力して「Enter」キーを押してください。

③「Ethernet adapter ローカルエリア接続:」が表示され、IP アドレスが 192.168.0.X(X値は 2~33 です)になっていることを確認します。

The screenshot shows a Windows XP Command Prompt window titled "コマンド プロンプト". The text inside the window is as follows:

```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥acca>ipconfig /renew

Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:
    connection specific dns suffix . . . . . :
    IP Address. . . . . : 192.168.0.2
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.0.1

C:¥Documents and Settings¥acca>
```

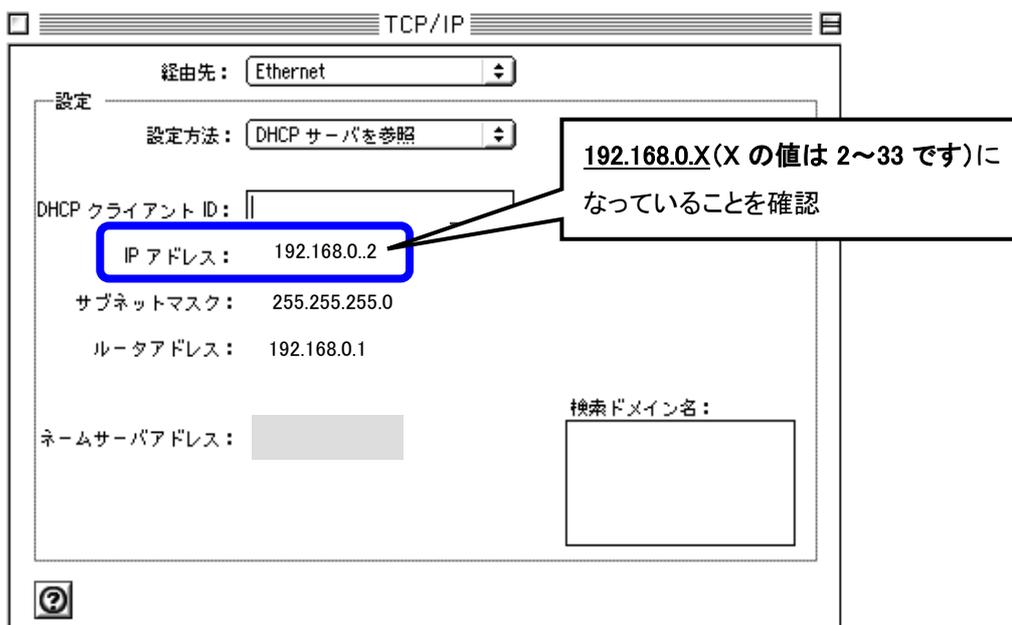
Three callout boxes with arrows point to specific parts of the screenshot:

- Box 1: "1. ipconfig /renew と入力" points to the command entered at the prompt.
- Box 2: "2. 192.168.0.X (Xの値は2~33です)になっていることを確認" points to the IP address "192.168.0.2" in the output.
- Box 3: "3. exit と入力" points to the prompt "C:¥Documents and Settings¥acca>" at the bottom.

④確認後、exit と入力し、「Enter」キーを押して、画面を閉じます。

#### (1) -4 IPアドレスの確認 Macintosh OS 9.x の場合

- ①アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選択してください。IP の設定画面が開きますので、IP アドレスが「192.168.0.X(X値は 2～33 です)」になっていることを確認します。



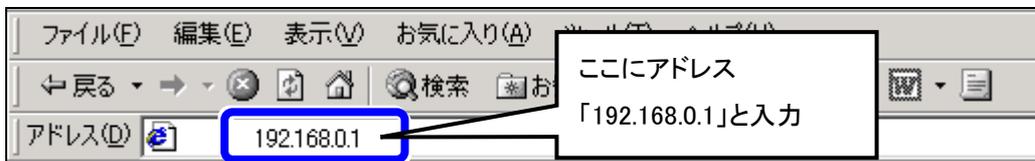
#### (1) -5 IPアドレスの確認 Macintosh OS X の場合

- ①アップルメニューから「システム環境設定」→「ネットワーク」を選択してください。IP の設定画面が開きますので、IP アドレスが「192.168.0.X(X値は 2～33 です)」になっていることを確認します。

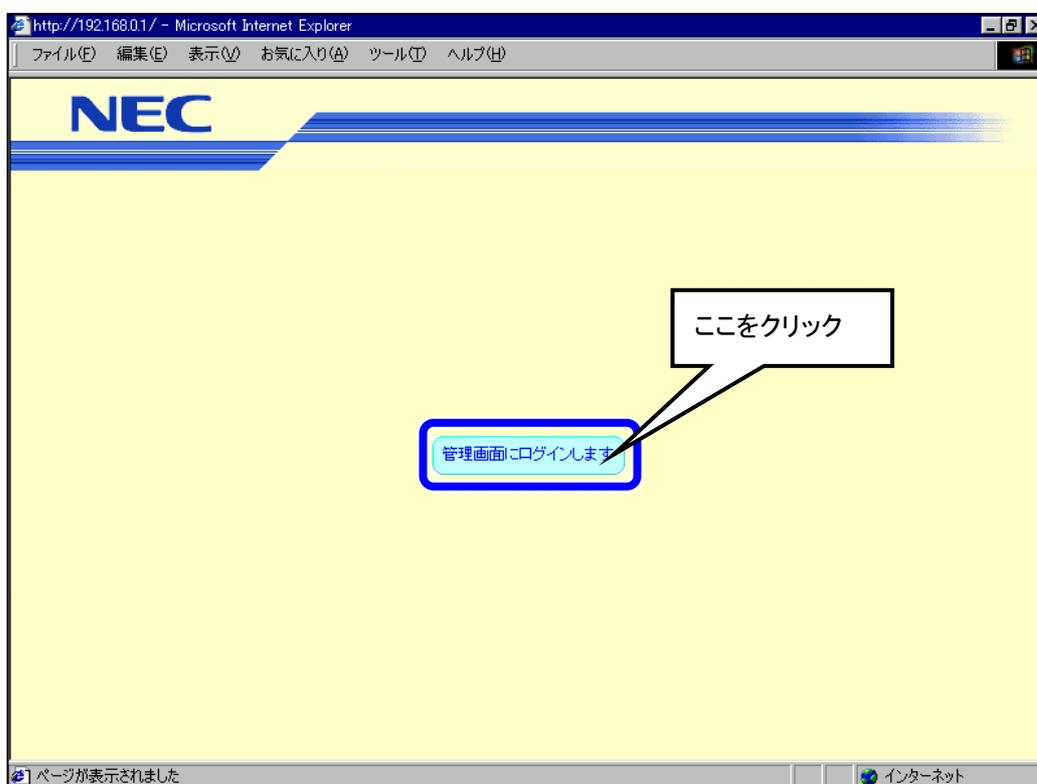


## (2) VoIP-TA の設定

- ① Web ブラウザを起動し、アドレスバーに「192.168.0.1」を入力し「Enter」キーを押してください。



- ② VoIP-TA の Web 管理画面へのログインできる状態になりますので、「[管理画面にログインします](#)」をクリックしてください。

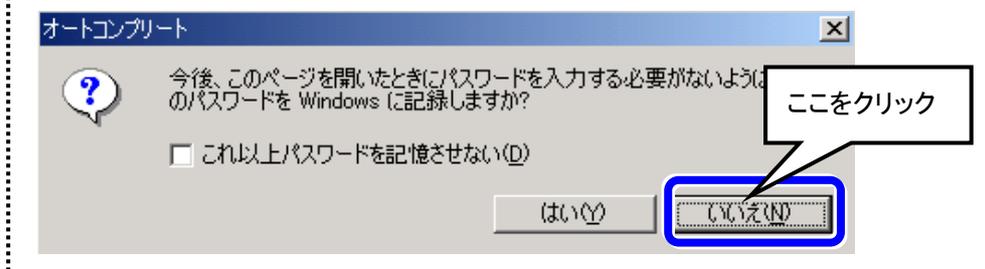


- ⚠ 注意:** プロキシサーバを使用してインターネットに接続している方は、上記画面が表示されませんので、ブラウザの設定を「プロキシサーバを使用しない」に変更をお願いします。  
(詳細は「2-3(1)④Windows インターネットプロパティに関して」参照)

- ③以下のウィンドウが表示されますので、「ユーザ名」を“user”、「パスワード」も“user”と入力して「OK」をクリックしてください。

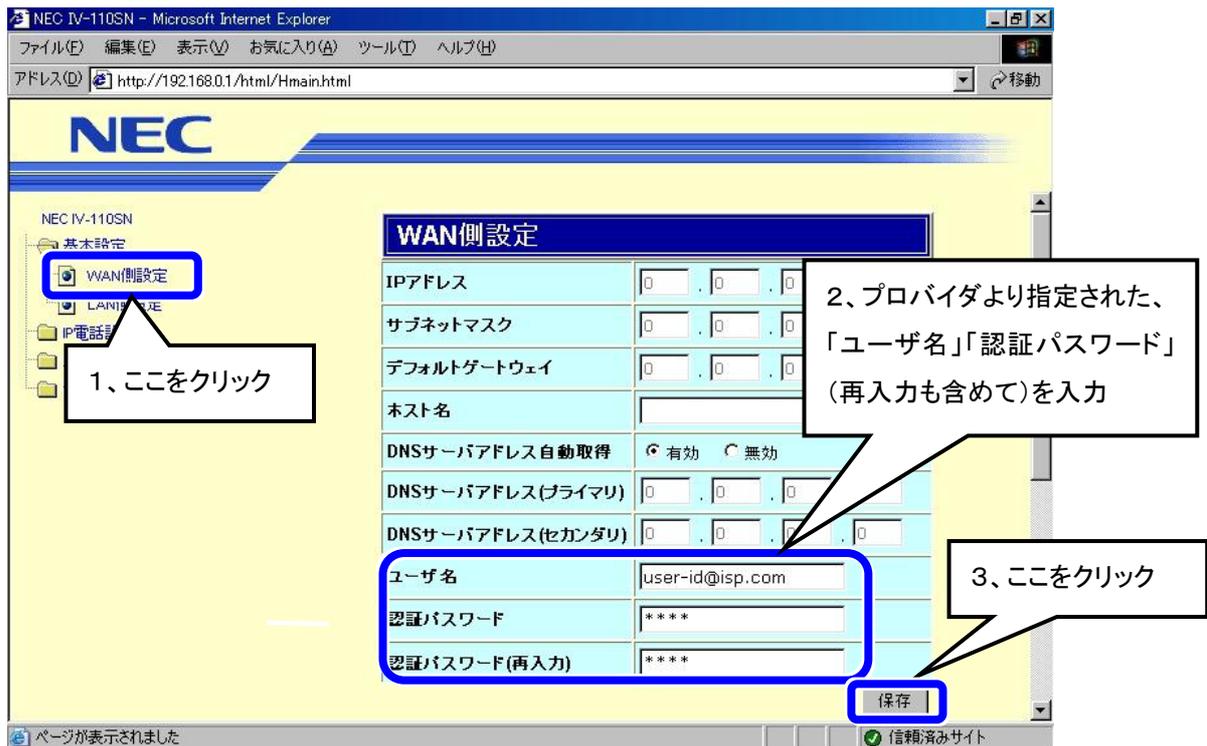


オートコンプリート機能を設定している場合以下の画面が表示されることがあります。  
この場合は「いいえ」をクリックしてください。

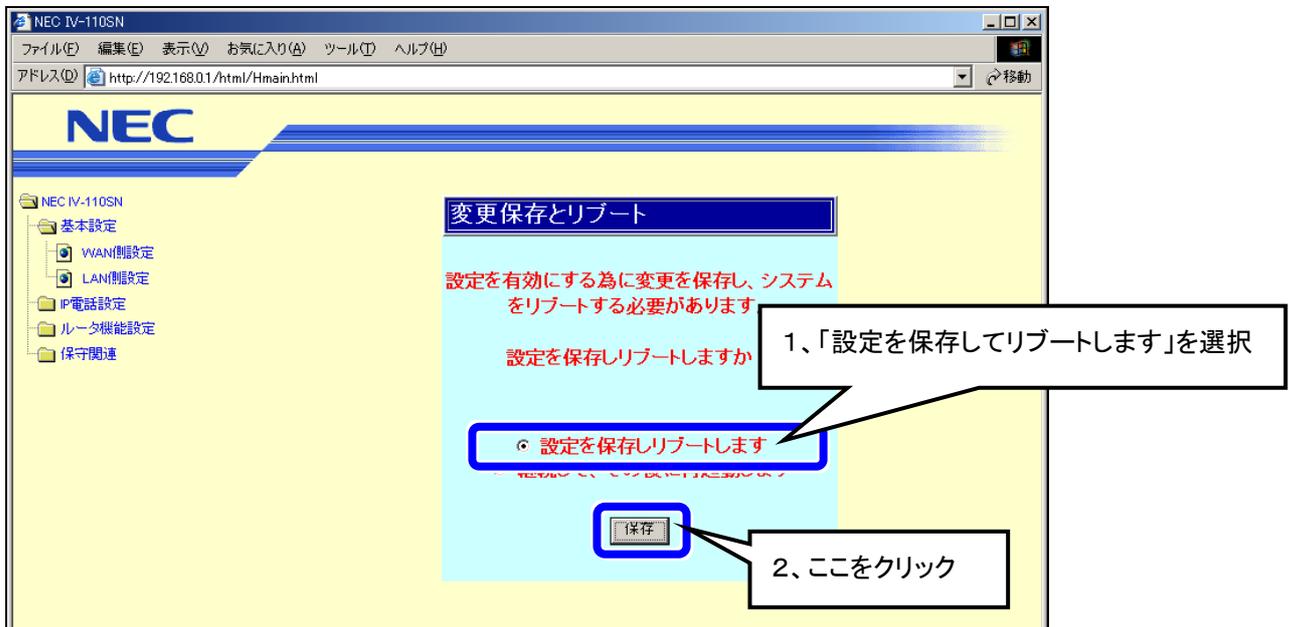


- ④正常にログインできると、「ステータス情報」画面が表示されます。

- ⑤「基本設定」-「WAN側設定」をクリックして、プロバイダより指定された、「ユーザ名」「認証パスワード」(再入力も含めて)を入力します。



- ⑥「設定を保存しリポートしますか？」と表示されますので「設定を保存してリポートします」を選択し、「保存」をクリックしてください。



- ⑦クリック後、「please wait restart...」と表示されます。この画面は(約30秒間)表示されてます。その間に、VoIP-TA の電源は切らないでください。



**⚠ 注意:**「変更保存とリポート」の画面から、「管理画面にログインします」が表示されるまで VoIP-TA の電源は切らないでください。

⑧再起動が完了し、ユーザ名と認証パスワードの設定が正しければ、本装置前面の「PPPランプが緑点灯」します。

⑨再度ログインし、WAN側設定の画面で「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」が割当てられているのをご確認ください。PPPが点灯しない場合は⑤の設定をやり直してください。

The screenshot displays the WAN configuration interface. It is divided into two main sections: '現在のWAN設定' (Current WAN Settings) and 'PPPoE Connect'. The '現在のWAN設定' section contains a table with the following data:

IPアドレス	210.164.28.2
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	210.164.28.1

The 'PPPoE Connect' section contains a table with the following data:

Connecting Status	Connected
PPPoE Status	Connect

Below the tables are two buttons: 'Connect' and 'Disconnect'. A callout box on the right side of the screenshot provides additional information:

- 「IP アドレス」 : IP アドレスが表示
- 「サブネットマスク」 : IP アドレスが表示
- 「デフォルトゲートウェイ」 : IP アドレスが表示
- 「Connecting Status」 : 「Connected」になっていることを確認

**⚠ 注意:** 「Connection Status」が「Connecting」もしくは「Authentication Fail」になり、PPPoE 接続ができない場合は、もう一度手順⑤にもどりユーザ名 (VoIP ユーザ ID) 認証パスワード (VoIP ユーザパスワード) を入力してください。

### (3) インターネットにつながることを確認

①Web ブラウザのアドレスバーに URL を入力します。

例えば、「[www.nec.co.jp](http://www.nec.co.jp)」(半角文字)と入力し「Enter」キーを押します。

Web サイト画面が以下のように表示されれば、インターネットに正常に接続されています。



### (4) PPP 接続状態について

表示	状態	対処
消灯	PPP 未接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ADSL モデムの接続、設定を確認してください。</li> <li>・WAN 側設定画面の「Connect」ボタンをクリックしてください。</li> <li>・まだ消灯中の場合は、3-2(2)⑤に戻って設定を確認してください。</li> </ul>
点滅	PPP 接続処理中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ADSL モデムの接続、設定を確認してください。</li> <li>・ユーザ名、認証パスワードが正しく入力されていることを確認してください。</li> <li>・しばらく待っても点灯しない場合は、WAN 側設定画面の“Connect”ボタンをクリックしてください。</li> <li>・まだ点滅中、あるいは消灯した場合は、3-2(2)⑤に戻って設定を確認してください。</li> </ul>
点灯	PPP 接続中	<ul style="list-style-type: none"> <li>※このままご使用になれます。</li> </ul>

### 3-3. VoIP-TA のその他の機能

#### (1) ステータス情報の確認

この機能を使用すると VoIP-TA のステータス情報を確認することができます。

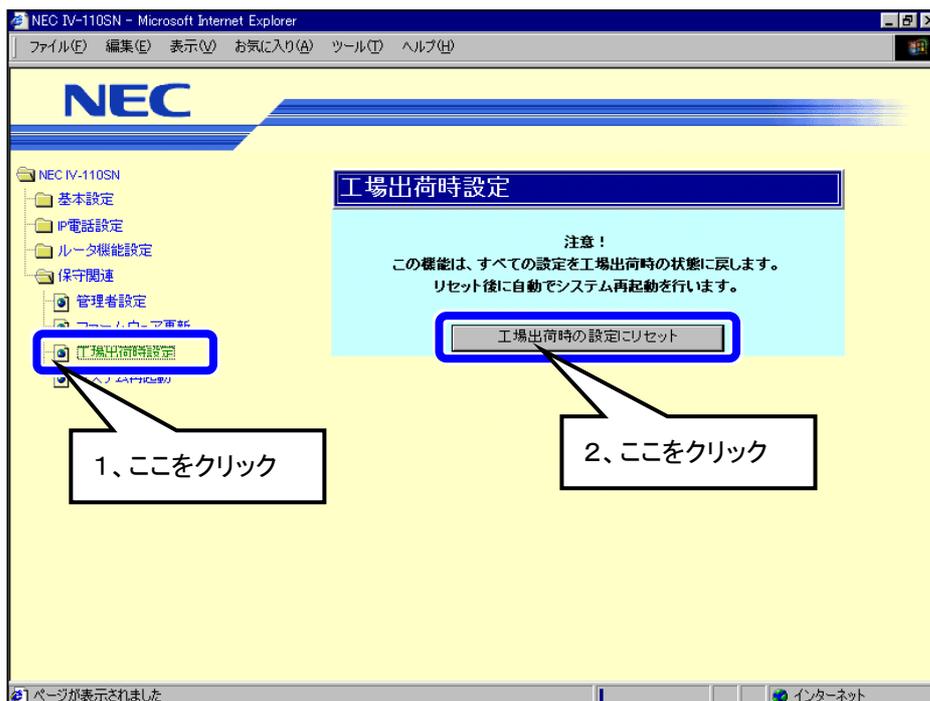
- ①「NEC IV-110SN」をクリックしてください。「ステータス情報」画面が表示されます。

## (2) 設定を初期化する

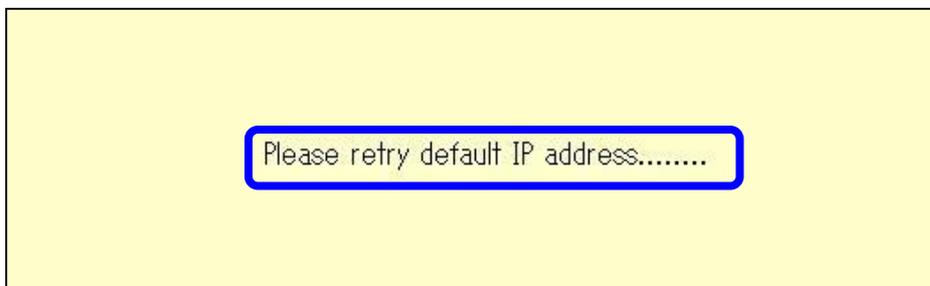
**⚠ 注意:** 設定を工場出荷時に戻すと設定作業(「3-2. VoIP-TA の設定方法」参照)を行うまで、インターネットに接続できなくなります。設定を初期化する必要がない場合はこの機能を使用しないでください

①「保守関連」-「工場出荷時設定」をクリックしてください。

②「工場出荷時の設定にリセット」をクリックすると設定が初期化されます。



③「工場出荷時の設定にリセット」をクリック後、「please retry default IP address.....」と表示されます。この画面は(約30秒間)表示されています。その間は、VoIP-TA の電源を切らないでください。



**⚠ 注意:** 「please retry default IP address.....」の画面から、「管理画面にログインします」が表示されるまで VoIP-TA の電源は切らないでください。

## 第 4 章 VoIP 機能の設定

### 4-1. VoIP 機能の設定

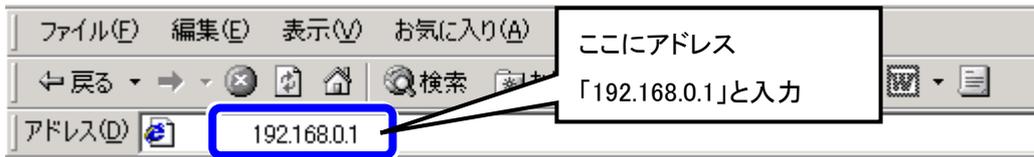
#### (1) VoIP 機能の設定を始める前に

VoIP の設定を始めるためには、ADSL 回線が接続されていることが必要です。「第 3 章 VoIP-TA の設定」を行ってから、VoIP の設定を始めてください。

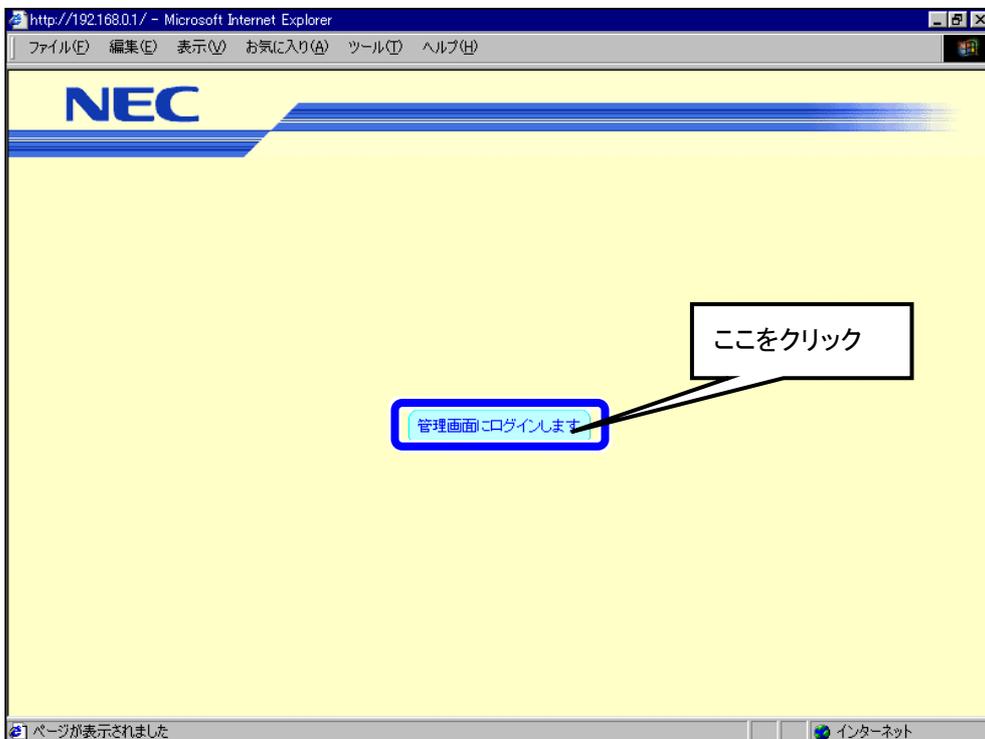
プロバイダから指定された、各種の設定情報(「VoIP サービス開通案内」)が必要になります。予めご準備の上、設定を始めてください。

#### (2) VoIP 機能の設定方法

① Web ブラウザを起動し、アドレスバーに「192.168.0.1」(半角英数)と入力し「Enter」キーを押してください。



② VoIP-TA の Web 管理画面へのログインできる状態になりますので、「[管理画面にログインします](#)」をクリックしてください。

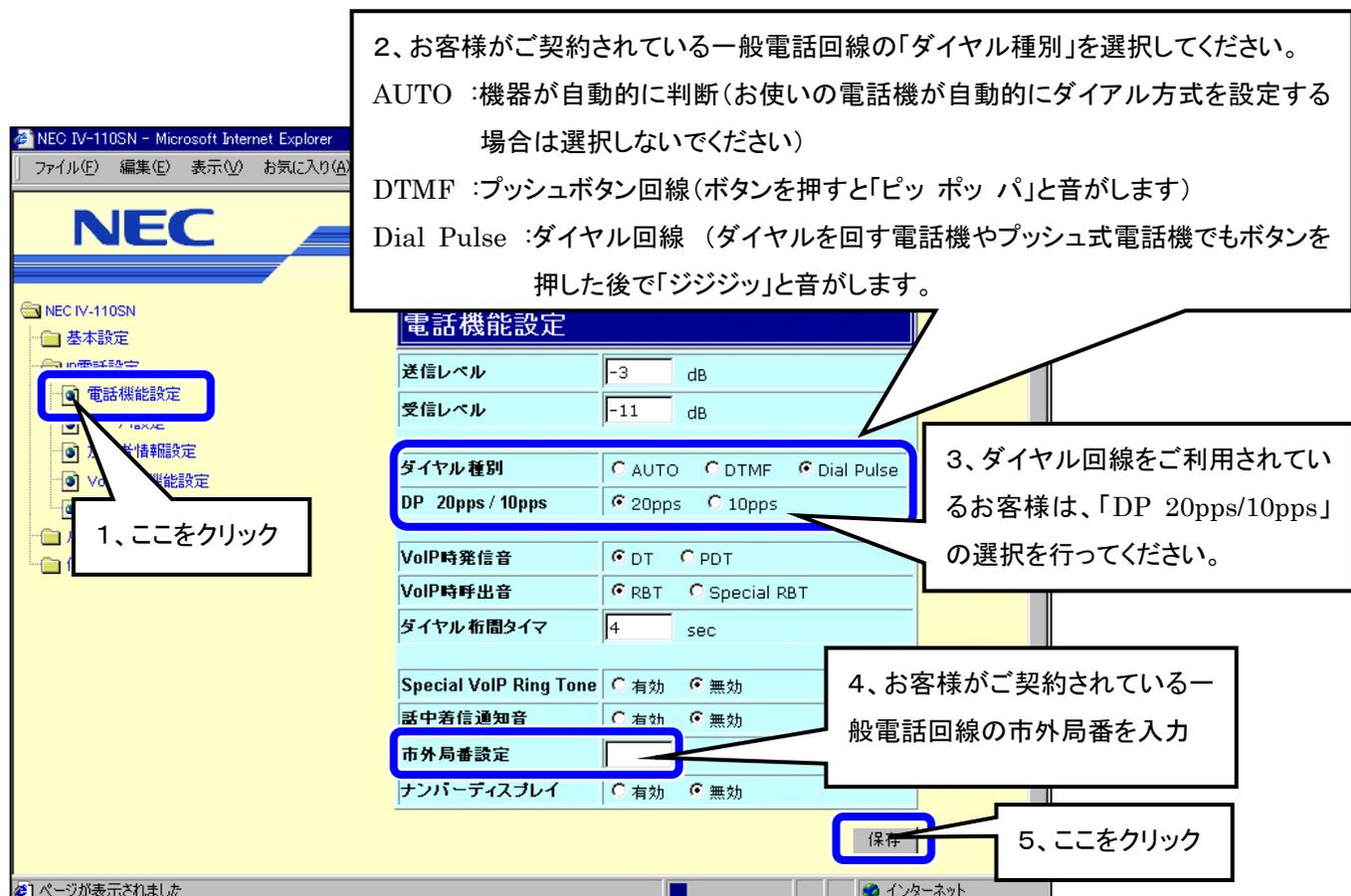


- ③以下のウインドウが表示されますので、「ユーザ名」を“user”、「パスワード」も“user”と入力して「OK」をクリックしてください。



- ④正常にログインできると、「ステータス情報」画面が表示されます。

- ⑤「IP 電話設定」-「電話機能設定」をクリックしてください。「ダイヤル種別」にお客様がご契約されている一般電話回線のダイヤル種別を選択してください。ダイヤル回線をご利用されているお客様は「DP 20pps/10pps」の選択を行ってください。「市外局番設定」項目にお住まいの地域に該当する市外局番を入力し「保存」をクリックします。※他の項目を続けて設定する場合は再起動の必要はありません。



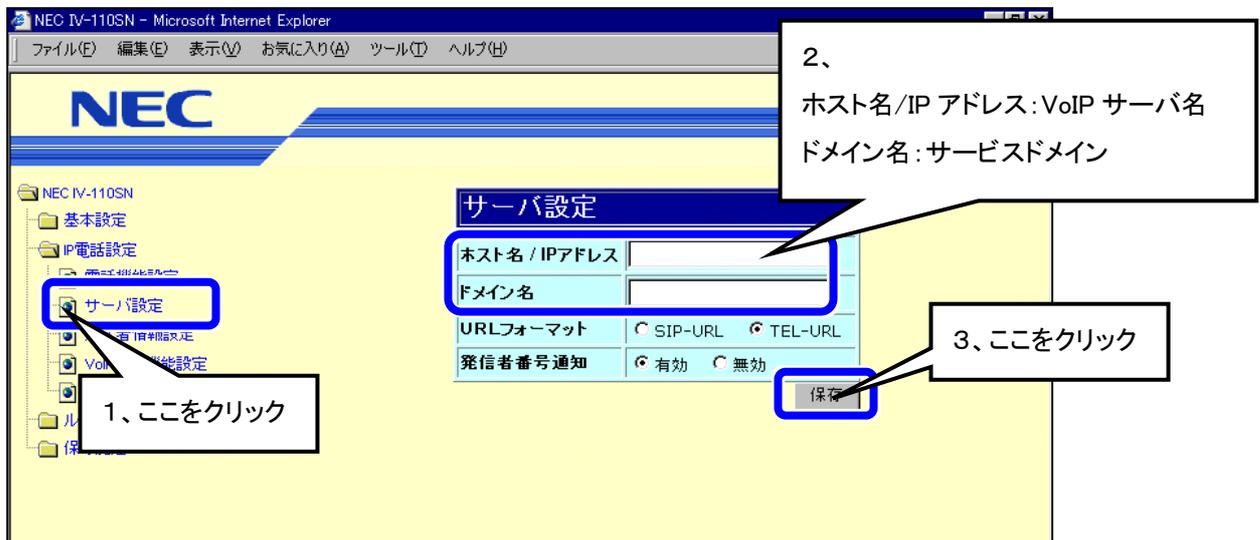
⚠注意: お客様の市外局番が変更となった時は、設定変更が必要となります。

⚠注意: 「市外局番」に間違った番号をいれると、正しく市内発信ができなくなります。

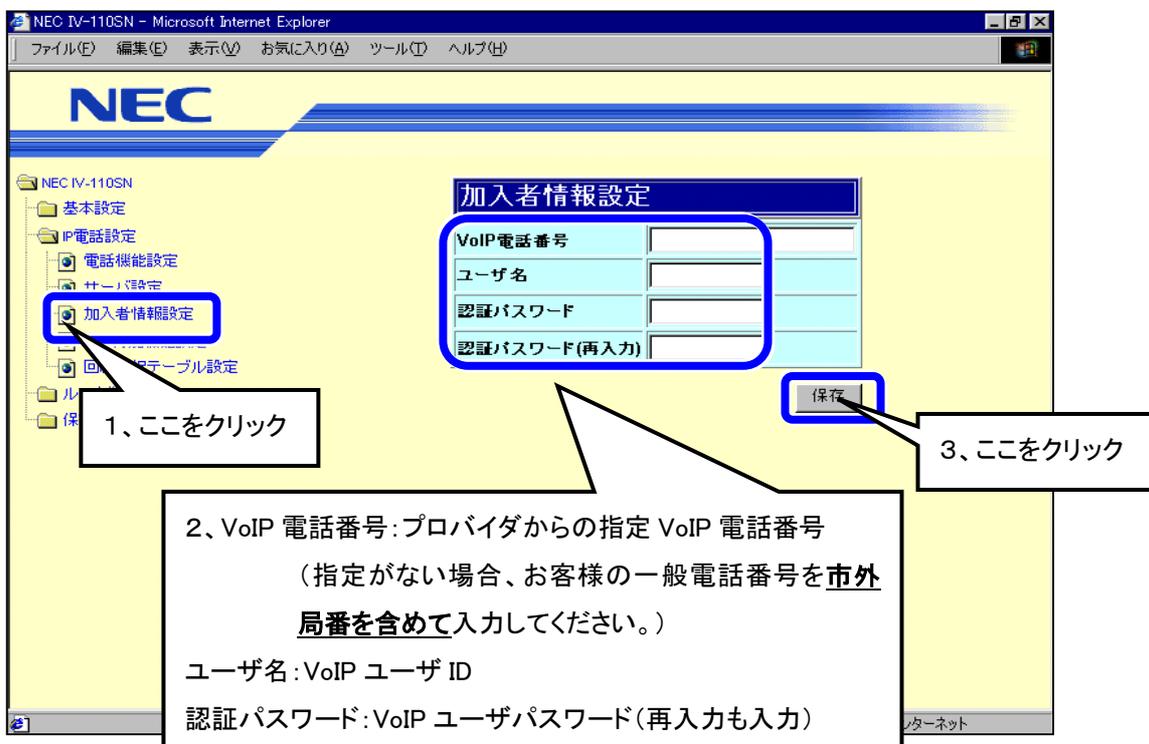
⚠注意: お客様の一般電話回線がナンバーディスプレイ契約回線の場合、「ナンバーディスプレイ」を「有効」にしてください。その他の場合は、「ナンバーディスプレイ」を「無効」にしてください。

- ⑥「IP 電話設定」-「サーバ設定」をクリックします。「ホスト名/IP アドレス」の項目に VoIP サーバ名を、「ドメイン名」の項目にサービスドメインを入力し「保存」をクリックします。

※他の項目を続けて設定する場合は再起動の必要はありません。



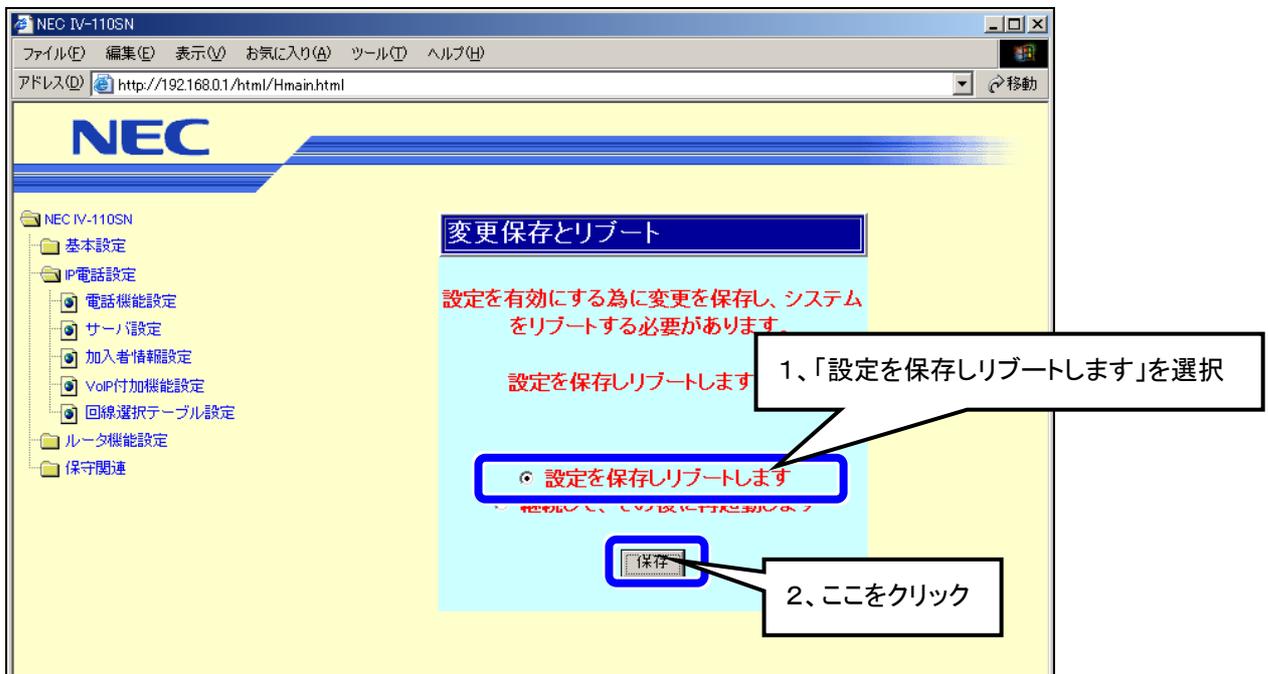
- ⑦「IP 電話設定」-「加入者情報設定」をクリックします。「VoIP 電話番号」の項目にお客様の電話番号(市外局番を含めて)を入力、「ユーザ名」の項目に VoIP ユーザ ID を入力、「認証パスワード」の項目に VoIP ユーザパスワード(確認のため再入力してください)を入力し「保存」をクリックします。



**⚠ 注意:**プロバイダから VoIP 電話番号の指定が無い場合には、お客様の一般電話番号を設定してください。  
 なお、一般電話番号入力の際は、「- ハイフン」は使用になれますが、「( ) カッコ」はご使用になれません。

**⚠ 注意:**VoIP 基本設定で入力を行うユーザ名、パスワードは「3-2.(2)VoIP-TA の設定」で設定するユーザ名、認証パスワードとは異なります。必ずプロバイダからの設定情報を確認して設定を行ってください。

- ⑧「設定を保存しリポートします」を選択し、「保存」をクリックして再起動を行います。約 30 秒後「管理画面にログインします」の画面が出たら、VoIP-TA の前面の「Status」ランプの点灯を確認します。



**⚠ 注意:** VoIP 契約を解除されるなどして VoIP の設定をクリアする場合には、

- 1 管理画面で「保守関連」フォルダ内にある「工場出荷時設定」で初期化を行うか（「3-3.(2) 設定を初期化する」を参照）、
  - 2 VoIP-TA 背面にある Reset ボタンを押し込みながら電源を投入し、5秒以上保持してください。Reset ボタンを離すと、装置は工場出荷時と同じ状態で起動します。
- ※このどちらかの方法で必ず行ってください。
- その後、VoIP-TA 背面の VoIP ON/OFF 切替スイッチを OFF 側に変更してください。

- ⑨設定変更後は、必ず設定内容の保存と再起動を行って下さい。  
(詳細は、3-2(2)の VoIP-TA の設定⑥～⑧を参照)

- ⑩再起動が終了し、ログイン画面が表示されましたら、PPP と Status/Alarm ランプ点灯(緑)を確認します。

VoIP 通話を行うためには、プロバイダの VoIP サーバに登録される必要があります。通常、IP ネットワークへの接続が正常にできている場合、数分以内に登録されます。登録された結果は、正面パネルの Status/Alarm ランプ点灯(緑)が点灯することで知ることが可能です。数分以内に Status/Alarm ランプ点灯(緑)が点灯しない場合、設定の内容を再度確認してください。

Status/Alarm ランプ点灯(緑)が点灯後、背面パネルの Phone ポートに接続した電話機を使用して、VoIP 通話が可能になります。

**⚠ 注意:** Status/Alarm ランプ点灯(緑)が点滅または消灯したままの場合は、VoIP ユーザ ID、VoIP 認証パスワード等の設定ミスが考えられますので、「4-1(2) VoIP 機能の設定方法」からやり直してください。

## 4-2. VoIP 機能の操作

Phone ポートに接続した電話機から利用します。

### (1) 電話のかけ方

Phone ポートに接続した電話機の受話器を取って、従来通りにダイヤルしてください。

- ・市内電話の場合：従来のダイヤル方法と同じです。市内局番からダイヤルしてください。通常は、VoIP 発信になります。

例：123-xxxx (x は数字)

- ・市外電話の場合：従来のダイヤル方法と同じです。市外局番からダイヤルしてください。

例：04x-xxx-xxxx (x は数字)

- ・国際電話の場合：従来のダイヤル方法と同じです。

”010”および”0033-010”で始まる国際通話ダイヤルは、VoIP 発信の NTT コミュニケーションズ国際通話となります。

前述以外の事業者識別番号をダイヤルした場合は、一般電話回線(PSTN)への発信となります。

例：010-xxx-xxxx、0033-010-xxxx (x は数字)

- ・フリーダイヤル等の発信の場合：従来のダイヤル方法と同じです。ただし、PSTN 発信になります。

例：0120-xxx-xxx (x は数字)

- ・一般電話網(PSTN)発信の場合：意図的に PSTN 発信をしたい場合は、”0000”+電話番号でダイヤルしてください。

例：0000-03x-xxx-xxxx (x は数字)

### (2) 電話の受け方

従来の電話と同じです。Phone ポートに接続した電話機のベルが鳴ったら、受話器を持ち上げ通話を開始してください。

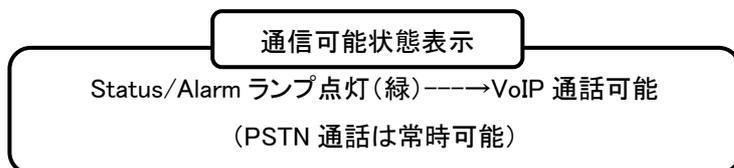
VoIP-TA は、ナンバーディスプレイ対応電話機に対応しています。お客様の一般電話回線がナンバーディスプレイ契約回線になっている場合は、ナンバーディスプレイ対応電話機を使用することで、VoIP 発信者の電話番号を表示できます。ナンバーディスプレイ対応電話機をご利用になる場合には、「4-1.(2)VoIP 機能の設定方法」を参照して、「ナンバーディスプレイ」を「有効」にしてください。電話機にも同様の設定が必要である場合もありますので、電話機の取扱説明書もご確認ください。電話機によっては、ナンバーディスプレイ機能を利用して、特定番号からの着信拒否と番号非通知の着信拒否を行うことが可能です。詳しくは電話機の取扱説明書をご確認ください。

 **注意:**お客様の一般電話回線がナンバーディスプレイ契約回線ではない場合、電話機のナンバーディスプレイ機能を「有効」にすると、一般電話回線から正しく着信できなくなることがあります。そのような場合には、VoIP-TA および電話機のナンバーディスプレイ機能を「無効」にしてご使用ください。

### (3) VoIP 通話と PSTN 通話について

VoIP 通話は、音声をデータに変換して、IP ネットワークを利用する通話のことです。

PSTN 通話とは、従来ご使用されている一般のアナログ電話回線での通話のことです。



VoIP-TA は、VoIP 通話と PSTN 通話とを、自動で切り替えることが可能です。VoIP 通話と PSTN 通話は、次のように識別することが可能です。

#### ■発信通信状態表示(正面ランプと受話器の音による識別)

	Status/Alarm ランプ	VoIP ランプ	Hook/Ring ランプ	受話器による 識別音
VoIP サーバ未登録時の待受 (この状態では VoIP 通話のご 利用はできません)	消灯	消灯	消灯	なし
VoIP サーバ登録時の待受 (VoIP 通話可能)	点灯	消灯	消灯	なし
VoIP 通話 (IP⇒IP 通話)	点灯	点滅	点灯	なし
VoIP 通話 (IP⇒PSTN 通話)	点灯	消灯	点灯	プ
PSTN⇒PSTN 通話 (ルーティングテーブル通話)	点灯	消灯	点灯	ププ
プリフィックスダイヤル通話時	点灯	消灯	点灯	なし

プリフィックスダイヤルとは、“0000”+電話番号をダイヤルして PSTN 発信する機能のことです。

#### ■着信通信状態表示(正面ランプによる識別)

	VoIP/PSTN ランプ	Hook/Ring ランプ
VoIP 着信表示	点灯	点滅→点灯(通話中)
PSTN 着信表示	消灯	点滅→点灯(通話中)

## ■通話種類について

通話種類には、以下のような種類があります。

- (1) IP→IP 通話: VoIP サービス加入者間の通話
- (2) IP→PSTN 通話: VoIP サービス加入者以外への通話
- (3) PSTN→PSTN 通話: 特殊番号(110, 119, 0570(ナビダイヤル)等)、“0000”発信、PHS 等

IP→IP 通話は、IP ネットワークに接続されているサービス加入者間での通話です。

IP→PSTN 通話は、サービス加入者以外への通話ですが、VoIP 通話を行います。この場合、IP ネットワーク上にある IP→PSTN ゲートウェイ(IP ネットワークと一般電話回線を接続するためのサーバ)を利用して通話します。

PSTN→PSTN 通話は、通常の一般電話回線を利用した通話のことで、特殊番号や携帯電話番号などに発信する場合に使用します。本装置はこれらの電話番号を自動的に判別し、一般電話回線へ発信します。また、“0000”を電話番号に先立ってダイヤルすることで、手動で一般電話回線へ発信することも可能です(プリフィックスダイヤル機能)。

### VoIP サーバ(コールエージェント、CA)について

VoIP サーバは、IP ネットワーク上で電話交換機の代わりをはたすサーバです。IP ネットワーク上での識別番号(IP アドレス)は、必ずしも固定ではありません。そのため、VoIP サーバは、お客様の VoIP 電話番号と IP アドレスを関連付けるデータベースを保持しています。VoIP 電話を利用するときには、本装置が VoIP サーバに対して発信先 VoIP 電話番号を通知し、VoIP サーバが発信先の IP アドレスを検索して仲介を行います。VoIP サーバは、コールエージェントとも言われます。

### PSTN について

PSTN とは、Public Switched Telephone Networks の略で、公衆電話網と訳されます。Public とは、公衆・一般の意味です(街角の「公衆電話」のことではありません)。Switch とは、交換と言う意味で、番号をダイヤルすることで、様々な通話先に切り替えて接続できることを意味しています。

本マニュアルでは、VoIP 通話に対して、従来の一般電話での通話のことを PSTN 通話と表記しています。

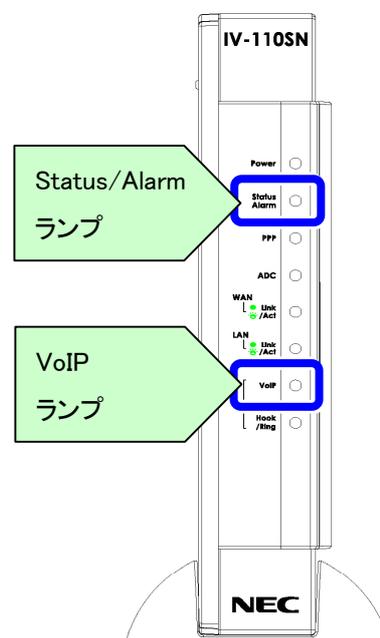
#### (4) VoIP サービスご利用にあたっての注意事項

VoIP サービスを利用されるにあたって、下記についてご注意ください。

- ①VoIP ユーザ ID, VoIP ユーザパスワード等は、お客様による変更はできません。
- ②お客様の市外局番が変更となった時は、設定変更(「4-1 VoIP 機能の基本設定」参照)が必要です。
- ③VoIP ON/PFF の切り替えスイッチを「OFF」にすると、VoIP 通話はできません。
- ④VoIP サービスに障害が発生した場合は、VoIP 通話はできません。自動的に、「PSTN」へ切り替えて、発信されます。

##### ■エラー状態表示(正面ランプと受話器のエラー音)

	Status/Alarm ランプ	VoIP ランプ	受話器の 識別音
VoIP システム エラー	点灯(緑)	消灯	ピピ
VoIP サーバとの 接続障害	消灯	消灯	ピピピ
VoIP 認証エラー	消灯	消灯	ピピピピ



- ⑤停電時は、PSTN 通話のみの発着信となります。
- ⑥VoIP サービス(SIP-VoIP)でFAX がご利用いただけない場合があります。そのような場合には、「0000」+相手先電話番号をダイヤルして PSTN 通話でご利用ください。
- ⑦VoIP サービスで PB 信号(銀行の残高照会等)がご利用できない場合があります。そのような場合には、「0000」+相手先電話番号をダイヤルして PSTN 通話でご利用ください。
- ⑧相手先電話番号にて、番号非通知を着信拒否している場合に、VoIP、PSTN 通話をご利用できない場合があります。そのような場合には、相手先電話番号の前に「186」をダイヤルしてご利用ください。
- ⑨電話機をダイヤル後、受話器からププ・ピピ等の音が出ている場合は、PSTN 発信になっています。
- ⑩誤ダイヤルで等でかけなおしをされる際は、Phone Hook/Ring ランプが一度消灯するまで確実に受話器を置いた後にダイヤルしてください。一度消灯せずにダイヤルすると PSTN 発信となることがあります。

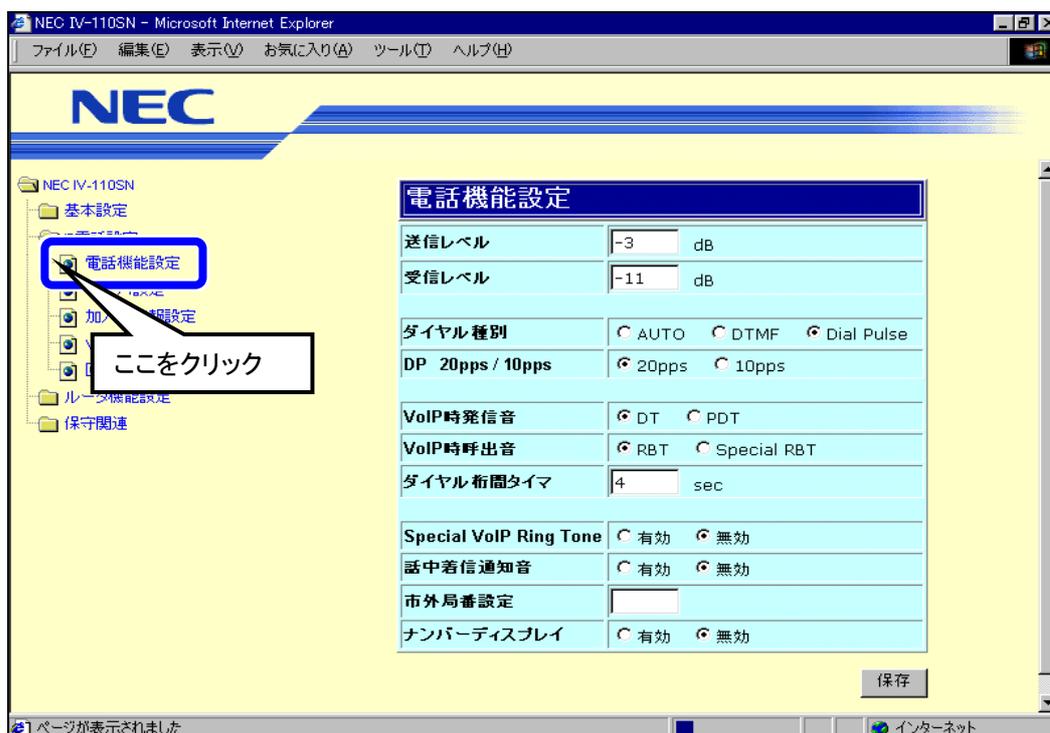
### 4-3. VoIP 機能のその他の設定画面

この章では、VoIP 関連のその他の設定画面を説明します。プロバイダからの指定があった場合には、指定に従い変更してください。

#### (1) 電話機能設定

この機能を使用すると、VoIP 通話の詳細について設定することができます。

- ①「IP 電話設定」-「電話機能設定」をクリックします。

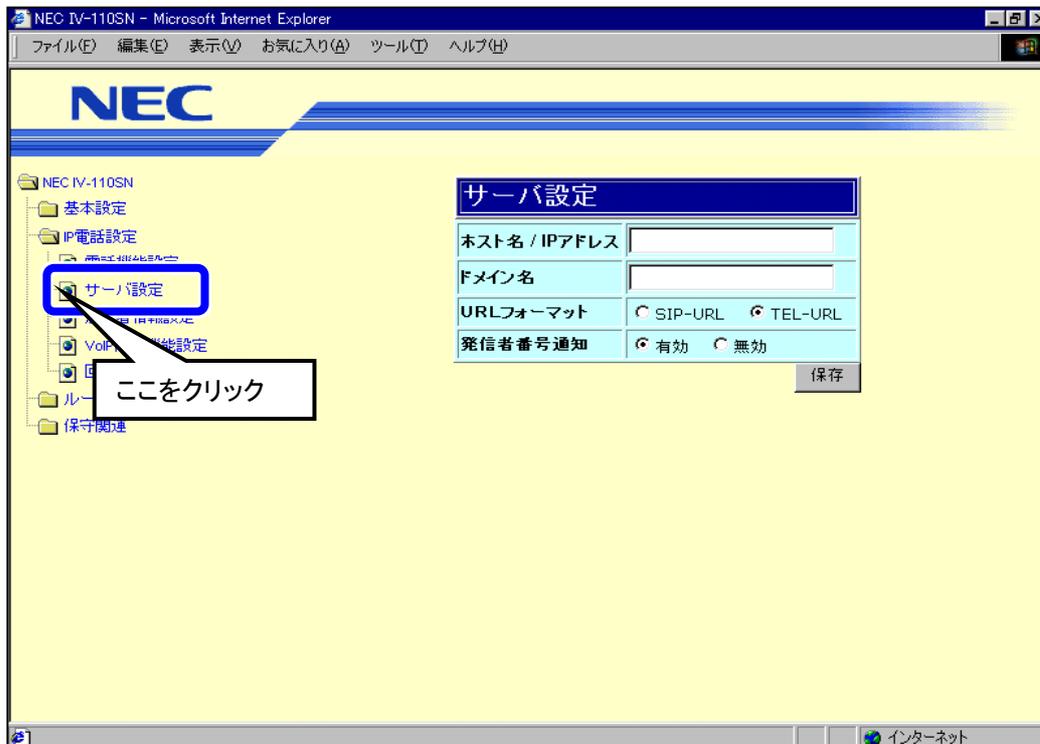


項目	内容	デフォルト値
送信／受信レベル	送信／受信レベルを設定します。	-3/-11
ダイヤル種別	ダイヤルの種類を設定します。	Dial Pulse
DP/20pps 10pps	ダイヤルパルスを設定します。	20pps
VoIP 時発信音	VoIP 時発信音の種類を設定します。	DT
VoIP 時呼出音	VoIP 時呼出音の種類を設定します。	RBT
ダイヤル桁間タイム	ダイヤル入力を終了と判断して発信するまでの秒数を設定します。	4
Special VoIP Ring Tone	VoIP 着信のときに呼出音を PSTN 着信と違う呼び出し周期にするかどうかを設定します。(2sON-2sOFF)	無効
話中着信通知音	通話中に別の VoIP 着信が入ったときに、音で知らせるかどうかを設定します。	無効
ナンバーディスプレイ	接続した電話機にかけてきた相手の電話番号を表示させるかどうかを設定します。 <b>注意: お客様の一般電話回線がナンバーディスプレイ契約回線の場合、「ナンバーディスプレイ」を「有効」にしてください。その他の場合は、「ナンバーディスプレイ」を「無効」にしてください。</b>	無効

## (2) サーバ設定

この機能を使用すると、サーバ設定の詳細について設定することができます。

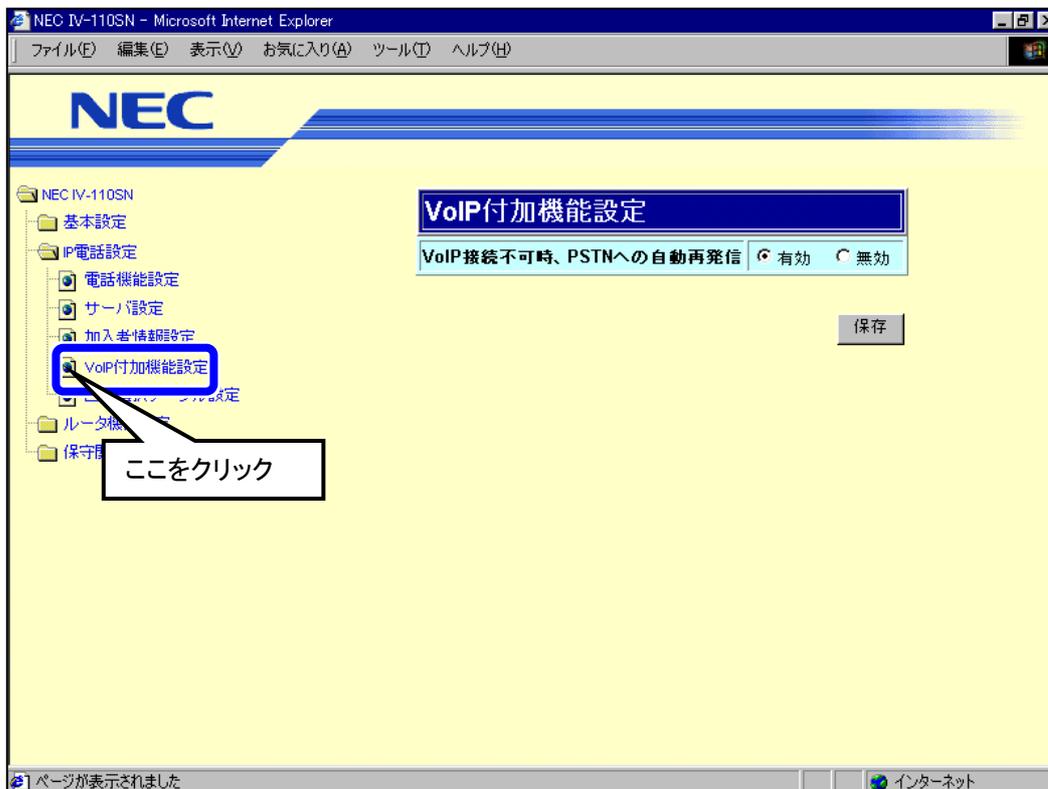
- ①「IP 電話設定」-「サーバ設定」をクリックします。



項目	内容	デフォルト値
URL フォーマット	TEL-URL か SIP-URL かを設定します。	TEL-URL
発信者番号通知	発信相手へ自分の電話番号を通知するかどうかを設定します。	有効

### (3) VoIP/PSTN 発信制御の設定方法

①「IP 電話設定」-「VoIP 付加機能設定」をクリックします。



内容	デフォルト値	デフォルト値
VoIP 着信不可時、PSTN への自動再発信	VoIP で通話できない場合、自動的に PSTN へ発信する機能を無効にできます。無効にした場合にエラーが生じた場合でも、局発信切り替え番号(デフォルト:0000)を相手先電話番号に先立って回すことで PSTN 発信可能です(プリフィクス発信)。	有効 (通常はデフォルトのままご使用ください。)

#### (4) 回線選択テーブル設定

110 番や 119 番などの緊急電話番号は、あらかじめ PSTN 発信するように登録されています(ユーザ設定不可)。一部の特殊電話番号(0120 等)へダイヤルをされる場合必ず一般電話回線(PSTN)に発信する必要があります。本装置は自動的に番号を判断し、一般電話回線(PSTN)へ発信します。

この設定画面では、発信先を一般電話回線(PSTN)へ自動的に切り替える電話番号を、登録することが可能です。

予め、プリフィックス“0000”が登録されています。プロバイダが、これら一部の電話番号に対応する場合には、登録番号リストから削除することで、VoIP 発信に切り替えることが可能です。

①「IP 電話設定」-「回線選択テーブル設定」をクリックします。



入力例1) 電話番号“03-1234-5678”を PSTN 発信に固定する場合

[番号] 0312345678

[削除桁数] 0

“03-1234-5678”をダイヤルした場合に、入力した電話番号を削除することなく PSTN を利用して発信します。

入力例2) フリーダイヤルの全電話番号を PSTN 発信に固定する場合

[番号] 0120T

[削除桁数] 0

“0120”の後につけた“T”(半角大文字)は、“0120”の後に電話番号が続くことを意味しています。これで“0120”から始まるすべての電話番号は PSTN を利用して発信します。同様に携帯電話や PHS などへの発信を登録する場合は、“090T”、“070T”といった番号を登録します

**⚠ 注意:**1桁の“0T”を登録すると、ほとんどの電話番号が PSTN 発信特殊番号と見なされ、VoIP 通話ができなくなりますので、ご注意ください。

## 第 5 章 トラブルシューティング

### 5-1. 電話に関するトラブル



VoIP 電話が使えなくなりました。(5-1-1)

#### 前面の Status/Alarm ランプは点灯(緑)していますか？

Status/Alarm ランプが点灯し VoIP サーバに登録されている状態でなければ VoIP 機能を選択し VoIP 電話を使用することは出来ません。

点灯していない場合には ADSL 回線の接続がされている事を確認した上で、

再度「第 4 章 VoIP 機能の設定」を参照して VoIP の基本設定を行ってみてください。

それでも Status/Alarm ランプが点灯しない場合はご契約されているサービスプロバイダまで連絡してください。

#### 背面の VoIP スイッチは「ON」になっていますか？

背面にある VoIP「ON/OFF」の切り替えスイッチが「ON」でなければ VoIP 通話をする事は出来ません。「OFF」になっている場合には「ON」に切り替えてください。

それでも VoIP 通話が出来ない場合にはご契約されているサービスプロバイダまで連絡してください。



一般加入電話が使えなくなりました。(5-1-2)

#### 電話機のダイヤル方式と、加入電話回線のダイヤル方式は合っていますか？

電話回線のダイヤル方式に電話機のダイヤル方式を合わせる必要があります。電話機の取扱説明書をご確認の上、パルス回線の場合は、電話機の設定もパルス(DP)に設定してください。PB 回線の場合、電話機の設定も PB(トーン/DTMF)に合わせてください。

一部の電話機は、自動でダイヤル方式(PB/DP)を設定します。このような電話機を本装置に接続すると、DTMF(PB)設定になる傾向があります。必ずマニュアル設定で、電話回線のダイヤル方式に合わせてください。

#### 配線の繋ぎ間違いはありませんか？

再度「3-1.VoIP-TA の接続方法」を参照して配線の確認をしてください。

それでも使えない場合は電話機から出ている電話線を直接モジュージャックへ接続してみてください。

・使える場合：スプリッタ又はその周りの電話線が故障している可能性があります。

・使えない場合：電話局内側の故障の可能性があります。

いずれの場合もご契約されているサービスプロバイダまで連絡してください。



一般加入電話をかけると ADSL の接続が切れてしまいます。(5-1-3)

#### 配線の繋ぎ間違いはありませんか？

再度「3-1.VoIP-TA の接続方法」を参照して配線の確認をしてください。



#### 通話が切断されました。(5-1-4)

それまで、正常にご使用いただいていた場合、通信が込み合っているために切断されたことが考えられます。通話中、通信速度が落ち、音声品質が満たされない場合には切断されることがあります。しばらくたってからお掛け直してください。



#### 市内番号からダイヤルしたとき、つながらない。(5-1-5)

##### **市外局番の設定を間違えていませんか？**

「4-1 VoIP 機能の基本設定」を確認し、市外局番を確認してください。  
お客様の市外局番が変更となったときには、「4-1.VoIP 機能の設定」で市外局番を変更してください。



#### その他、VoIP 電話に関するトラブル(5-1-6)

ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

## 5-2. VoIP-TA 設定に関するトラブル



#### VoIP-TA に接続できません。(5-2-1)

##### **LAN ランプは点灯していますか？**

LAN ランプが点灯していない場合は、再度「3-1.VoIP-TA の接続方法」を参照して配線の確認をしてください。また、パソコンが LAN カードを認識しているか確認してください。

##### **パソコンのネットワーク設定に問題はありませんか？**

ネットワーク設定が間違っていないかどうか、「2-3.ネットワーク設定のご準備」を参照してください。

##### **プロキシの設定がしてありますか？**

プロキシサーバを使用してインターネットに接続している方は、モデムの Web 管理画面が表示できません。正しい設定は「2-3.ネットワーク設定のご準備」を参照にしてください。



#### VoIP-TA が設定通りに動作していません。(5-2-2)

##### **VoIP-TA を設定後、再起動しましたか？**

Web 画面左側の「保守」フォルダ内にある「変更内容の保存」で保存を行って次画面での再起動を行っていない場合、Web 画面の「現在の設定内容」の画面表示では変更内容が反映されていますが、設定内容が全て有効になっていません。必ず保存と再起動が必要です。

---

**VoIP 機能付き TA スタートアップマニュアル**  
**日本電気株式会社 IV-110SN ユーザ用 第 1 版**

作成日：2002 年 12 月

- \* 本マニュアルの内容の著作権は、作成会社に帰属します。
- \* 無断で複写、複製することを禁止します。
- \* 本マニュアルの内容は改善のため予告無く変更する可能性があります。
- \* 記載されている社名、製品名、ブランド名はすべて各社の商標または登録商標です。